

平成29年度県民満足度調査 調査結果報告書

(人生の最終段階における医療等編)

平成 29 年 8 月
岡 山 県

目次

第Ⅰ部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
3 分析・表示について	1

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

(1) 性別及び年齢階層	2
(2) 世帯構成	2
(3) 同居の子どもの有無	2
(4) 子どもの成長段階	3
(5) 居住地域（県民局）	3
(5) 居住地域（医療圏域）	3
(6) 県内での通算居住年数	3
(7) 職業	4

2 人生の最終段階における医療等について

問 15 介護を受けたい場所	5
問 16 人生の最終段階での治療方針に関する家族との話し合い	8
問 17 「リビングウィル」の認知度	11
問 18 リビングウィルに対する考え方	14
問 19 リビングウィルの書面作成の有無	18
問 20 余命が短い場合の延命医療の意向	22
問 21 余命が短い場合に療養生活を送りたい場所	28

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

県の施策実施による県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開していく基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

2 調査の方法等

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査地域 | 岡山県内市町村 |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の 18 歳以上の男女（平成 29 年 4 月 1 日現在）
2,500 人 |
| (3) 調査方法 | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収） |
| (4) 回収結果 | 1,344 人（回答率 53.8%） |
| (5) 調査期間 | 平成 29 年 6 月 1 日（木）～6 月 15 日（木） |

3 分析・表示について

1. 比率については小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
2. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
3. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100%を超えている。
4. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
5. 報告書中の図表では、各属性区分の中で最大値に網掛けをしている。
6. 類似調査比較として、次の調査との比較を行った。

平成 26 年度調査：在宅療養及び人生の最終段階における医療に関する意識調査（岡山県）

平成 25 年度調査：第 3 次おかやま夢づくりプランに係る県民満足度調査（終末期医療編）（岡山県）

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

■問1（1）性別及び年齢階層

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	計
男性	6 (1.1)	30 (5.5)	53 (9.8)	88 (16.2)	91 (16.8)	130 (23.9)	144 (26.5)	1 (0.2)	543 (40.4)
女性	6 (0.9)	52 (7.4)	84 (12.0)	108 (15.4)	131 (18.7)	159 (22.6)	161 (22.9)	1 (0.1)	702 (52.2)
無回答	- -	- -	1 (1)	5 (5.1)	8 (8.1)	22 (22.2)	59 (59.6)	4 (4.0)	99 (7.4)
計	12 (0.9)	82 (6.1)	138 (10.3)	201 (15.0)	230 (17.1)	311 (23.1)	364 (27.1)	6 (0.4)	1,344 (100.0)

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位：（ ）内は%

	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
構成比	(5.8)	(11.1)	(13.0)	(16.0)	(13.1)	(16.9)	(24.0)	(100.0)

(注) 上記構成比は、平成28年10月1日現在の岡山県毎月流動人口調査から算出

(注) 本調査の10歳代の対象者は18歳、19歳である

■問1（2）世帯構成

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	124 (9.2)	346 (25.7)	627 (46.7)	208 (15.5)	30 (2.2)	9 (0.7)	1,344 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位：（ ）内は%

構成比	親族世帯全体(69.0)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(58.1)				その他の親族世帯				
	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯					
	(19.7)	(29.1)	(1.5)	(7.8)	(10.9)	(0.8)	(29.8)	(0.5)	(100.0)

(注) 上記構成比は、平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1（3）同居の子どもの有無

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	641 (47.7)	689 (51.3)	14 (1.0)	1,344 (100.0)

■問 1 (4) 子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大 学、大学院 専門学校 などの 学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	109 (17.0)	128 (20.0)	96 (15.0)	101 (15.8)	78 (12.2)	323 (50.4)	15 (2.3)	2 (0.3)	641 (100.0)

■問 1 (5) 居住地（県民局）

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	635 (47.2)	1,181 (47.2)
備中地域 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、 早島町、里庄町、矢掛町)	541 (40.3)	1,010 (40.4)
美作地域 (津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、 西粟倉村、久米南町、美咲町)	162 (12.1)	309 (12.4)
無回答	6 (0.4)	
合計	1,344 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (5) 居住地（医療圏域）

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

地 域	回答者数	配布者数
県南東部 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	635 (47.2)	1,181 (47.2)
県南西部 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、 矢掛町)	491 (36.5)	925 (37.0)
高梁・新見 (高梁市、新見市)	50 (3.7)	85 (3.4)
真庭 (真庭市、新庄村)	35 (2.6)	66 (2.6)
津山・英田 (津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、 美咲町)	127 (9.4)	243 (9.7)
無回答	6 (0.4)	
合計	1,344 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (6) 県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	36 (2.7)	38 (2.8)	109 (8.1)	1,154 (85.9)	7 (0.5)	1,344 (100.0)

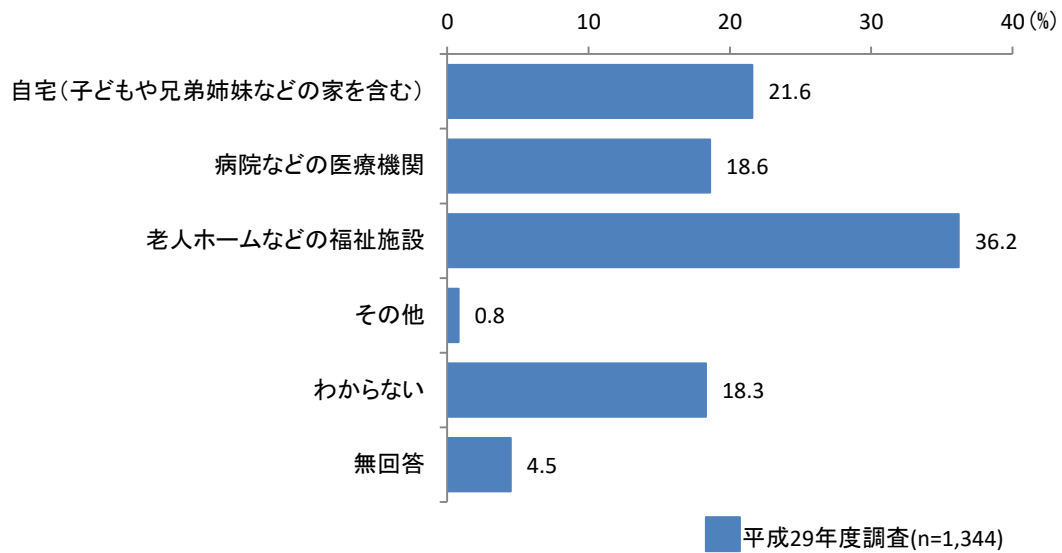
■問 1 (7) 職業

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

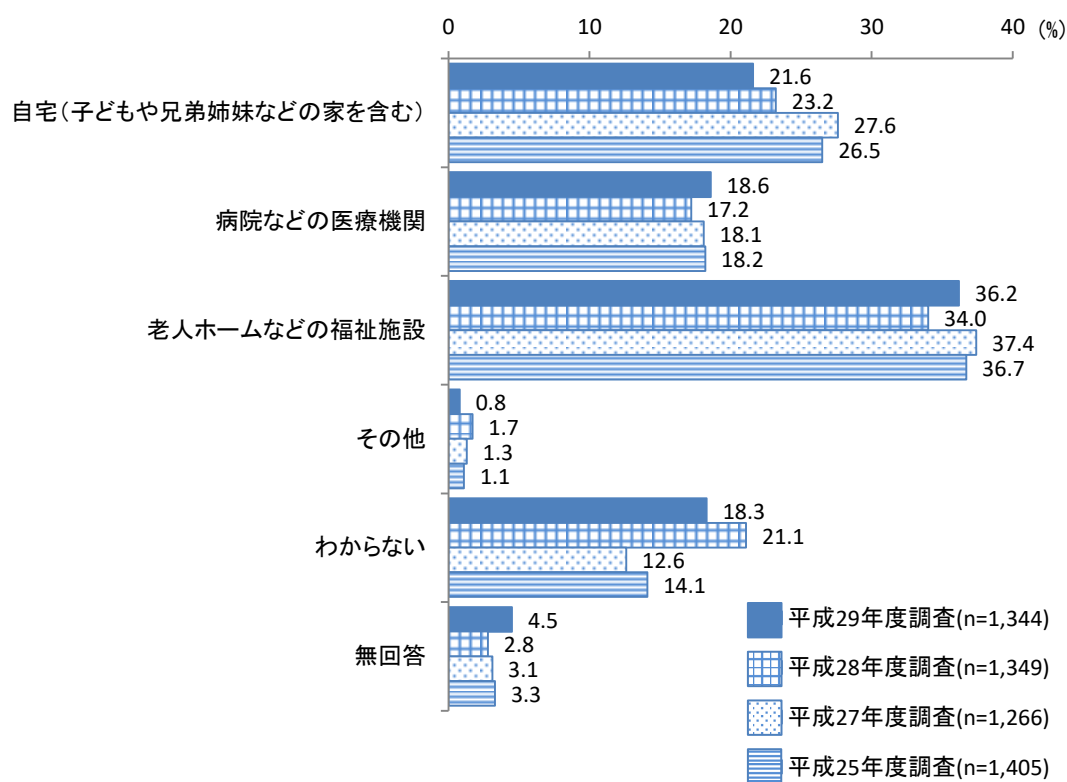
	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正 社員(正職 員)	会社・団体 などの役 員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	140 (10.4)	359 (26.7)	29 (2.2)	256 (19.0)	173 (12.9)	30 (2.2)	343 (25.5)	14 (1.0)	1,344 (100.0)

2 人生の最終段階における医療等について

■問 15 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態になった場合、どこで介護を受けたいですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



<類似調査比較>



○前年度との比較

◆上昇

「病院などの医療機関」(前年度差 1.4)

「老人ホームなどの福祉施設」(前年度差 2.2)

◆低下

「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」(前年度差▲1.6)

「その他」(前年度差▲0.9)

「わからない」(前年度差▲2.8)

【介護を受けたい場所】

		(%)					
	全体	む姉自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)	病院などの医療機関	社老人ホームなどの福祉施設	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,344	21.6	18.6	36.2	0.8	18.3	4.5
性別	男性 n= 543	24.1	19.0	31.5	0.6	20.3	4.6
	女性 n= 702	19.1	17.7	40.9	1.1	17.5	3.7
年齢階層	10歳代 n= 12	16.7	0.0	16.7	8.3	58.3	0.0
	20歳代 n= 82	17.1	8.5	39.0	0.0	32.9	2.4
	30歳代 n= 138	25.4	13.8	39.9	2.2	17.4	1.4
	40歳代 n= 201	16.9	16.4	39.3	0.0	24.9	2.5
	50歳代 n= 230	17.0	18.3	38.3	1.3	20.9	4.3
	60歳代 n= 311	24.4	20.9	35.4	1.3	15.4	2.6
	70歳以上 n= 364	24.2	22.5	32.7	0.0	11.5	9.1
世帯構成	ひとり暮らし n= 124	15.3	22.6	31.5	1.6	19.4	9.7
	夫婦のみ n= 346	24.6	20.2	34.7	0.0	15.0	5.5
	親・子の二世帯 n= 627	20.1	16.7	38.8	1.4	19.5	3.5
	親・子・孫の三世帯 n= 208	24.5	18.3	35.1	0.0	19.7	2.4
	その他 n= 30	23.3	23.3	26.7	0.0	20.0	6.7
同居の子ども	子どもがいる n= 641	20.7	17.9	39.5	1.1	17.5	3.3
	子どもはいない n= 689	22.4	19.0	33.2	0.6	19.2	5.7
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 635	20.8	17.8	38.7	0.8	17.3	4.6
	備中地域 n= 541	21.8	21.1	32.3	0.9	19.0	4.8
	美作地域 n= 162	23.5	13.0	39.5	0.6	20.4	3.1
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 635	20.8	17.8	38.7	0.8	17.3	4.6
	県南西部 n= 491	22.2	21.4	31.4	0.8	19.6	4.7
	高梁・新見 n= 50	18.0	18.0	42.0	2.0	14.0	6.0
	真庭 n= 35	20.0	8.6	57.1	0.0	11.4	2.9
	津山・英田 n= 127	24.4	14.2	34.6	0.8	22.8	3.1
居住年数	5年未満 n= 36	16.7	13.9	38.9	2.8	25.0	2.8
	5年以上10年未満 n= 38	23.7	15.8	31.6	0.0	28.9	0.0
	10年以上20年未満 n= 109	17.4	19.3	29.4	1.8	30.3	1.8
	20年以上 n= 1,154	22.2	18.6	36.9	0.7	16.7	4.9
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 140	23.6	15.7	39.3	0.0	15.0	6.4
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 359	20.6	15.9	36.5	1.4	23.7	1.9
	会社・団体などの役員 n= 29	34.5	20.7	31.0	0.0	10.3	3.4
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	20.3	18.4	40.6	0.4	16.8	3.5
	専業主婦(主夫) n= 173	17.9	21.4	41.6	2.3	13.9	2.9
	学生 n= 30	13.3	10.0	30.0	3.3	43.3	0.0
	無職 n= 343	24.2	22.2	30.0	0.0	16.0	7.6

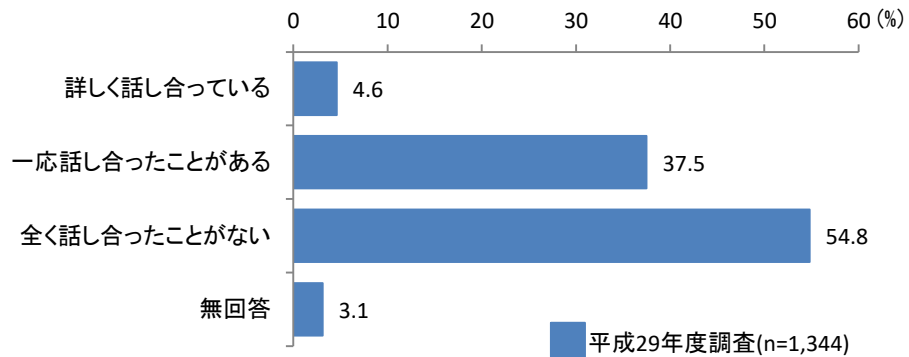
○介護を受けたい場所について

全体では「老人ホームなどの福祉施設」が最も高く、次いで「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」、「病院などの医療機関」の順となっているが、回答者の属性別で分析すると、以下のような特徴が見られる。
【性別】「男性」、「女性」とも、「老人ホームなどの福祉施設」が最も高く、次いで「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」という傾向は同じだが、「女性」のほうが「老人ホームなどの福祉施設」の割合が高くなっている。

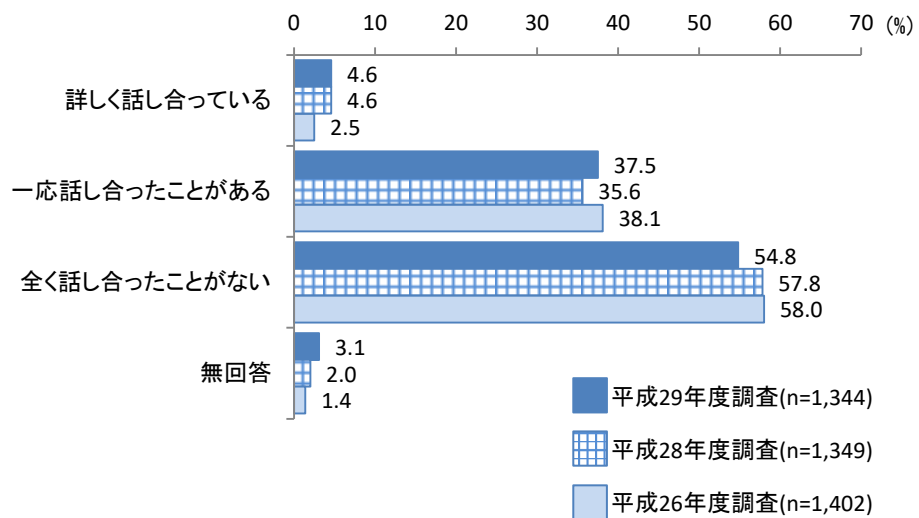
【世帯構成】「ひとり暮らし」のみ、「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」よりも、「病院などの医療機関」のほうが高くなっている。

【居住地域②(医療圏域)】「県南西部」及び「高梁・新見」では、「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」と「病院などの医療機関」の間に他地域ほどの差が見られない。

■問 16 幸福な長寿社会を実現するためには、人生の最終段階で受けたい医療について、あらかじめ家族等と話し合い、希望を伝え、これをかなえる環境を整えることが必要です。
 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



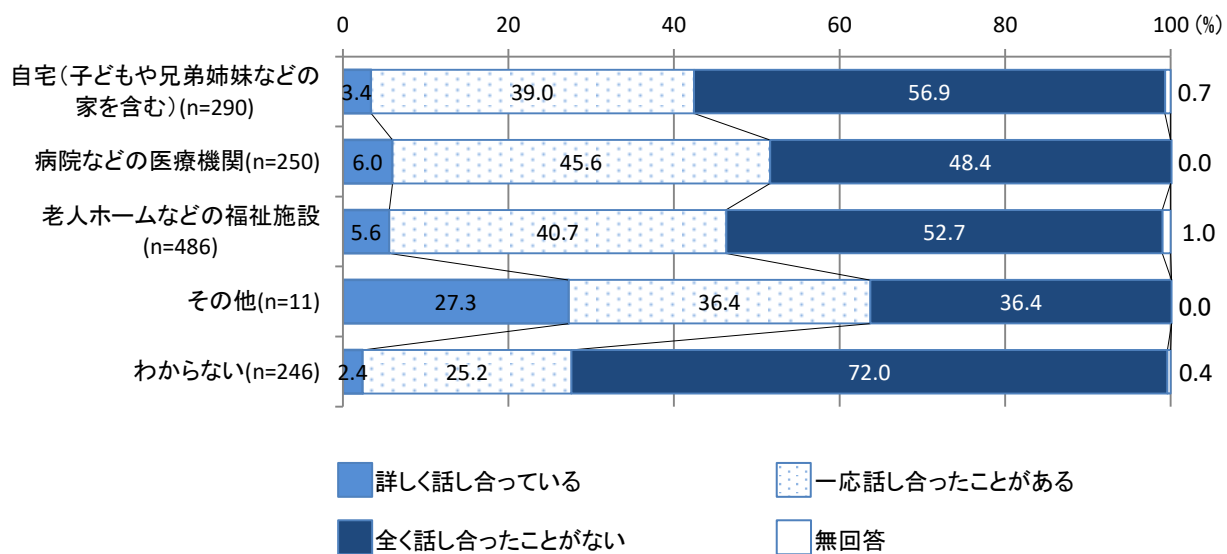
<類似調査比較>



○前年度との比較

- ◆上昇
「一応話し合ったことがある」(前年度差 1.9)
- ◆低下
「全く話し合ったことがない」(前年度差▲3.0)
- ◆差がなし
「詳しく話し合っている」

<問 15 とのクロス集計>



問 15 (介護を受けたい場所) で「病院などの医療機関」と回答した人は、他の場所を選択した人に比べて『話し合っている』(「詳しく話し合っている」と「一応話し合ったことがある」の合計。以下同じ。)が高くなっている。また、問 15 で「わからない」と回答した人は、「まったく話し合ったことがない」が高くなっている。

【人生の最終段階での治療方針に関する家族との話し合い】

(%)

	全 体	る 詳 しく話 し合っ てい	が一 応話 し合っ たこ と	が全 く話 し合っ たこ と	無 回 答
全体	全体 n= 1,344	4.6	37.5	54.8	3.1
性別	男性 n= 543	4.1	31.5	61.1	3.3
	女性 n= 702	5.4	41.2	51.3	2.1
年齢階層	10歳代 n= 12	0.0	8.3	91.7	0.0
	20歳代 n= 82	0.0	24.4	74.4	1.2
	30歳代 n= 138	4.3	15.2	80.4	0.0
	40歳代 n= 201	4.0	29.4	64.7	2.0
	50歳代 n= 230	4.8	34.8	57.8	2.6
	60歳代 n= 311	4.5	44.1	49.2	2.3
世帯構成	70歳以上 n= 364	6.3	49.7	37.6	6.3
	ひとり暮らし n= 124	4.0	33.9	56.5	5.6
	夫婦のみ n= 346	5.2	49.7	41.0	4.0
	親・子の二世帯 n= 627	4.1	33.5	60.1	2.2
同居の子ども	親・子・孫の三世帯 n= 208	5.8	31.3	61.1	1.9
	その他 n= 30	0.0	40.0	53.3	6.7
居住地域① (県民局)	子どもがいる n= 641	4.5	33.7	59.9	1.9
	子どもはいない n= 689	4.8	40.6	50.4	4.2
居住地域② (医療圏域)	備前地域 n= 635	4.1	37.2	55.0	3.8
	備中地域 n= 541	5.5	38.6	53.2	2.6
	美作地域 n= 162	3.7	34.6	59.9	1.9
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 635	4.1	37.2	55.0	3.8
	県南西部 n= 491	5.9	37.9	53.8	2.4
	高梁・新見 n= 50	2.0	46.0	48.0	4.0
	真庭 n= 35	2.9	37.1	57.1	2.9
	津山・英田 n= 127	3.9	33.9	60.6	1.6
居住年数	5年未満 n= 36	0.0	27.8	72.2	0.0
	5年以上10年未満 n= 38	0.0	28.9	71.1	0.0
	10年以上20年未満 n= 109	3.7	26.6	68.8	0.9
	20年以上 n= 1,154	5.0	39.1	52.5	3.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 140	6.4	37.9	51.4	4.3
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 359	4.7	24.2	70.5	0.6
	会社・団体などの役員 n= 29	3.4	34.5	58.6	3.4
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	2.0	32.8	62.5	2.7
	専業主婦(主夫) n= 173	5.8	52.6	38.2	3.5
	学生 n= 30	0.0	26.7	73.3	0.0
	無職 n= 343	5.8	48.4	40.8	5.0

○人生の最終段階での治療方針に関する家族との話し合いについて

全体では「全く話し合ったことがない」が最も高くなっているが、回答者の属性別で分析すると、以下のような特徴が見られる。

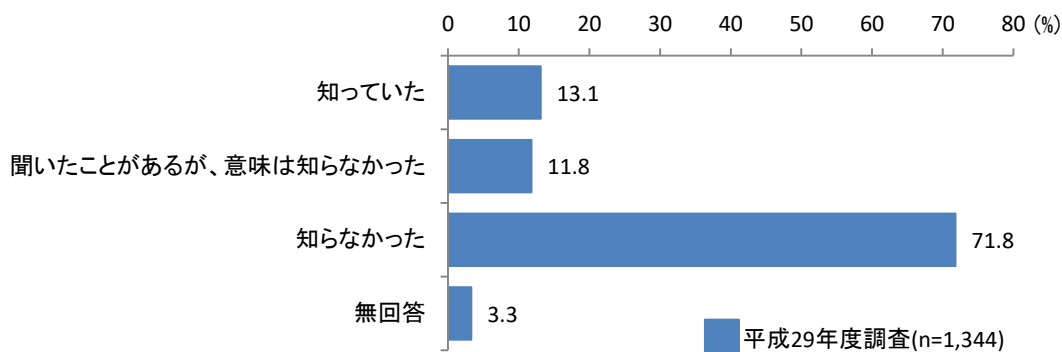
【年齢階層】年齢階層が上がるにつれて、『話し合っている』が高くなる傾向が見られる。両者の合計は、「60歳代」では「全く話し合ったことがない」とほぼ同率に並び、「70歳以上」では大幅に上回っている。

【世帯構成】「夫婦のみ」のみ、「一応話し合ったことがある」が最も高くなっている。

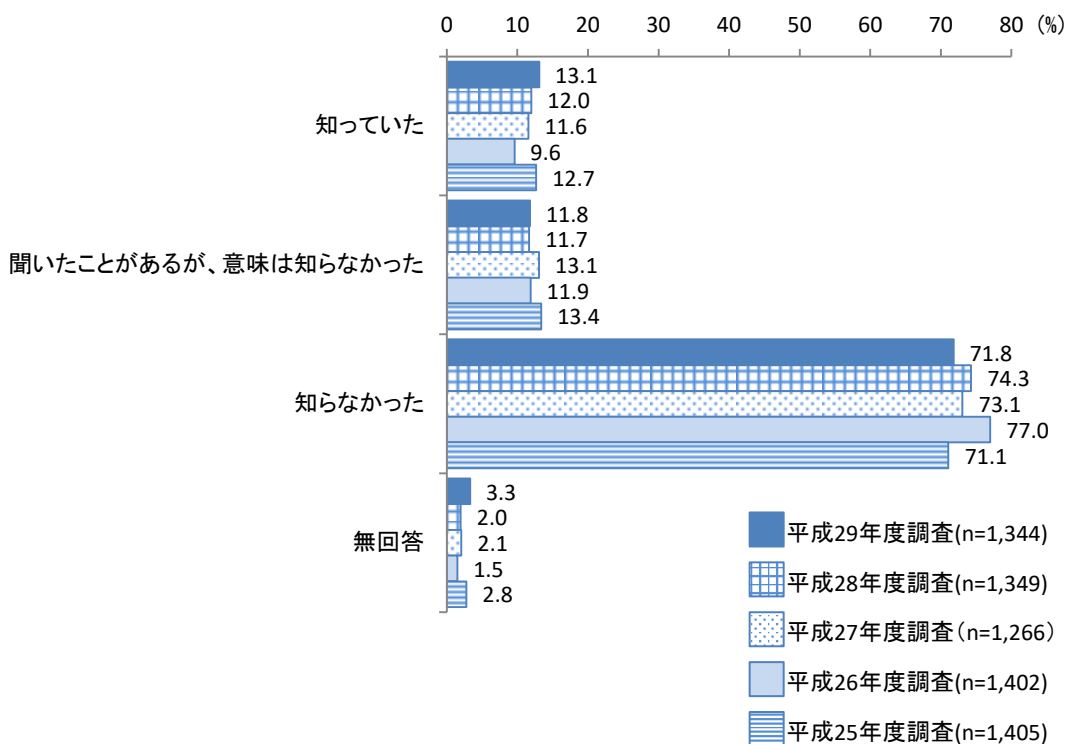
【居住地域②(医療圏域)】「高梁・新見」は、「全く話し合ったことがない」が他の地域に比べて低く、『話し合っている』と同率になっている。

【職業】「専業主婦(主夫)」及び「無職」では、「一応話し合ったことがある」が最も高くなっている。

■問 17 「リビングウィル」という言葉とその意味を、あなたは知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



<類似調査比較>



○前年度との比較

◆上昇

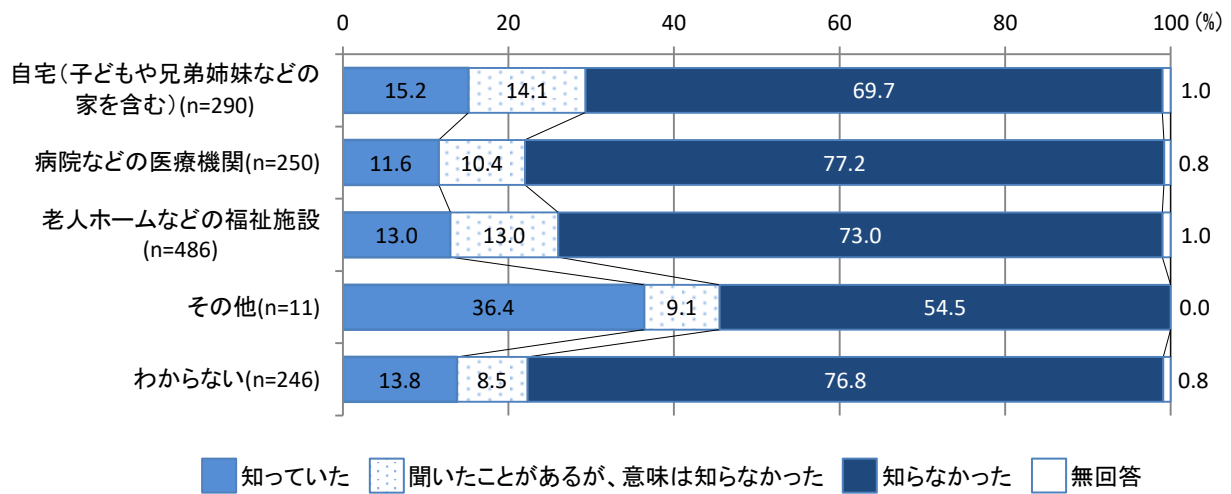
「知っていた」(前年度差 1.1)

「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(前年度差 0.1)

◆低下

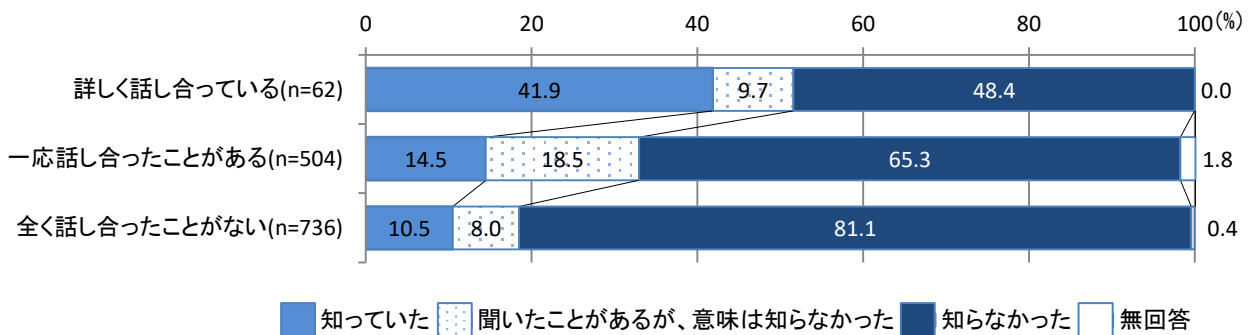
「知らなかった」(前年度差▲2.5)

<問 15 とのクロス集計>



問 15 (介護を受けたい場所) で「病院などの医療機関」及び「わからない」と回答した人は、「(リビングウィルという言葉や意味を) 知らなかった」が高くなっている。

<問 16 とのクロス集計>



問 16 (人生の最終段階で受けたい医療についての話し合い) で「詳しく話し合っている」と回答した人と、「全く話し合ったことがない」と回答した人を比較すると、リビングウィルの認知度(「知っていた」)は前者が高く、後者との間に約4倍の開きが見られる。

【「リビングウィル」の認知度】

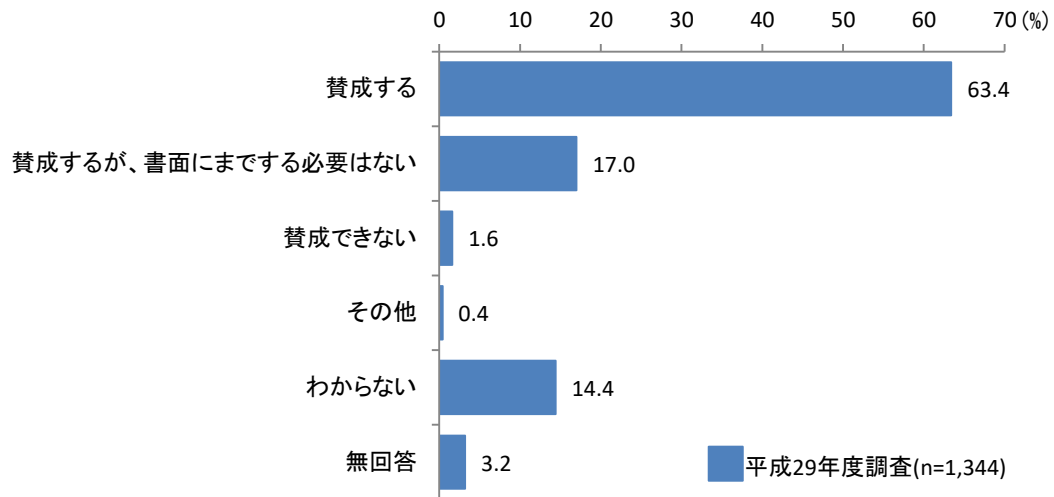
(%)

		全体	知っていた	か、聞いたことが知らなかった	知らなかった	無回答
全体	全体 n= 1,344	13.1	11.8	71.8	3.3	
性別	男性 n= 543	10.7	10.7	75.3	3.3	
	女性 n= 702	15.4	12.1	69.9	2.6	
年齢階層	10歳代 n= 12	8.3	8.3	83.3	0.0	
	20歳代 n= 82	28.0	11.0	59.8	1.2	
	30歳代 n= 138	18.1	6.5	74.6	0.7	
	40歳代 n= 201	10.0	12.9	75.6	1.5	
	50歳代 n= 230	17.8	10.0	70.0	2.2	
	60歳代 n= 311	10.6	10.3	76.8	2.3	
	70歳以上 n= 364	8.8	15.7	68.1	7.4	
世帯構成	ひとり暮らし n= 124	14.5	14.5	62.9	8.1	
	夫婦のみ n= 346	11.3	12.7	72.0	4.0	
	親・子の二世帯 n= 627	15.2	10.5	71.8	2.6	
	親・子・孫の三世帯 n= 208	11.1	10.6	77.4	1.0	
	その他 n= 30	0.0	26.7	66.7	6.7	
同居の子ども	子どもがいる n= 641	13.1	10.0	75.2	1.7	
	子どもはいない n= 689	13.4	13.4	68.7	4.6	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 635	13.7	10.9	71.8	3.6	
	備中地域 n= 541	13.3	12.9	70.4	3.3	
	美作地域 n= 162	10.5	11.1	76.5	1.9	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 635	13.7	10.9	71.8	3.6	
	県南西部 n= 491	13.8	12.8	70.1	3.3	
	高梁・新見 n= 50	8.0	14.0	74.0	4.0	
	真庭 n= 35	8.6	11.4	77.1	2.9	
	津山・英田 n= 127	11.0	11.0	76.4	1.6	
居住年数	5年未満 n= 36	19.4	5.6	75.0	0.0	
	5年以上10年未満 n= 38	18.4	7.9	71.1	2.6	
	10年以上20年未満 n= 109	12.8	8.3	78.0	0.9	
	20年以上 n= 1,154	12.8	12.4	71.2	3.6	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 140	12.1	12.1	70.0	5.7	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 359	18.4	10.3	70.5	0.8	
	会社・団体などの役員 n= 29	24.1	3.4	69.0	3.4	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	8.6	10.2	78.9	2.3	
	専業主婦(主夫) n= 173	12.1	9.8	74.6	3.5	
	学生 n= 30	40.0	6.7	53.3	0.0	
	無職 n= 343	9.0	16.3	69.4	5.2	

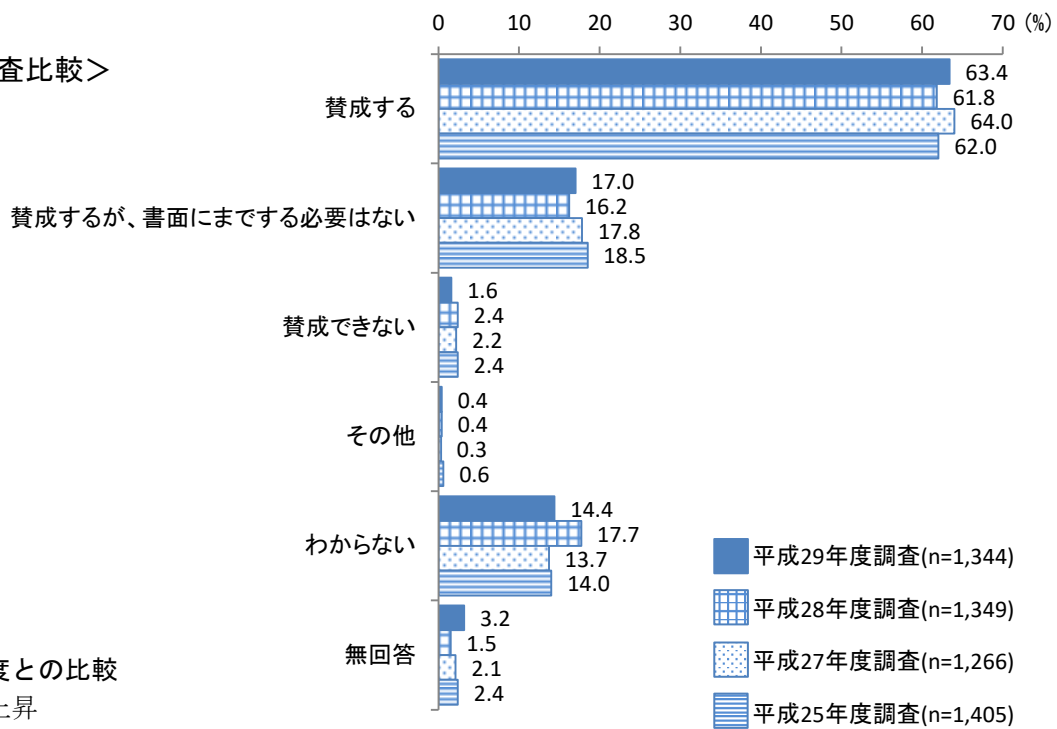
○「リビングウィル」の認知度について

全体では「知らなかった」が最も高くなっている。回答者の属性別で分析しても同様の結果となっているが、その一方で「20歳代」、「会社・団体などの役員」、「学生」では、「知っていた」が他の属性と比べてかなり高くなっている。

■問 18 リビングウィルとは、「治る見込みがなく、余命が短いときには延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておく、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」という考え方のことです。このことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



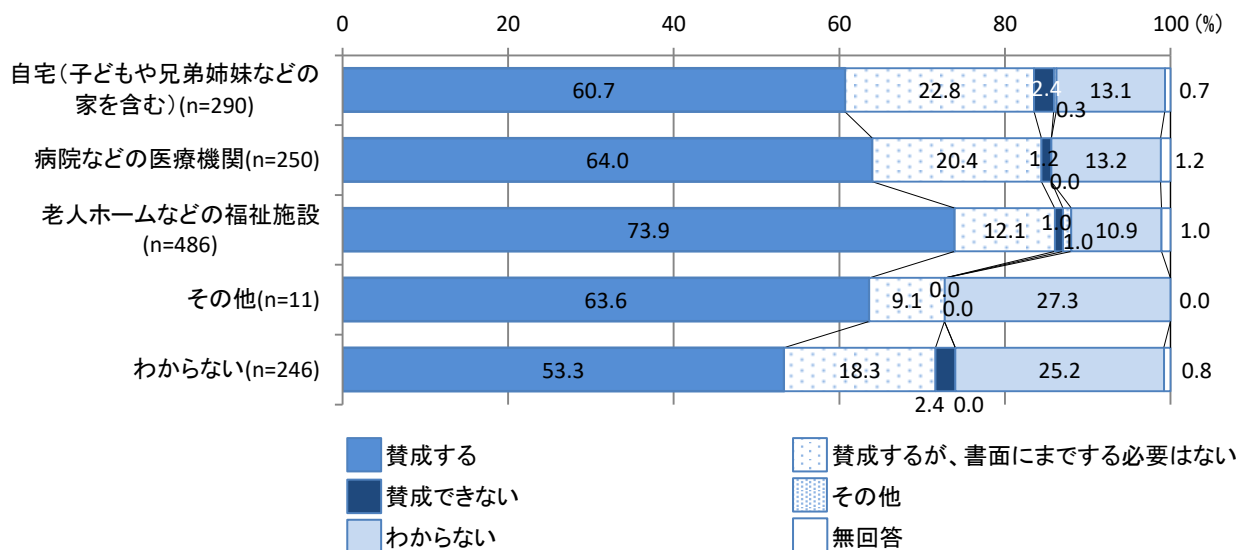
<類似調査比較>



○前年度との比較

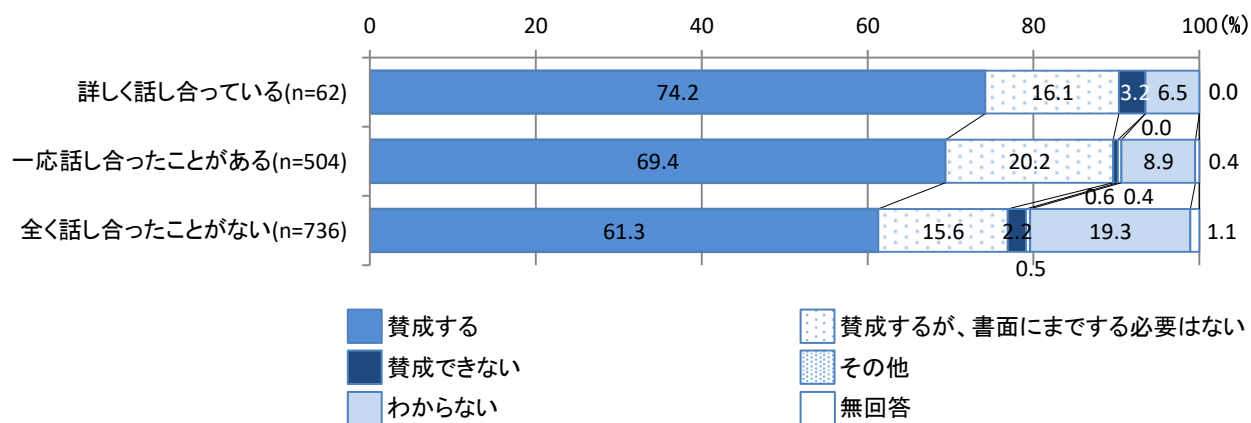
- ◆上昇
 - 「賛成する」(前年度差 1.6)
 - 「賛成するが、書面にまでする必要はない」(前年度差 0.8)
- ◆低下
 - 「賛成できない」(前年度差 ▲0.8)
 - 「わからない」(前年度差 ▲3.3)
- ◆差がなし
 - 「その他」

<問 15 とのクロス集計>



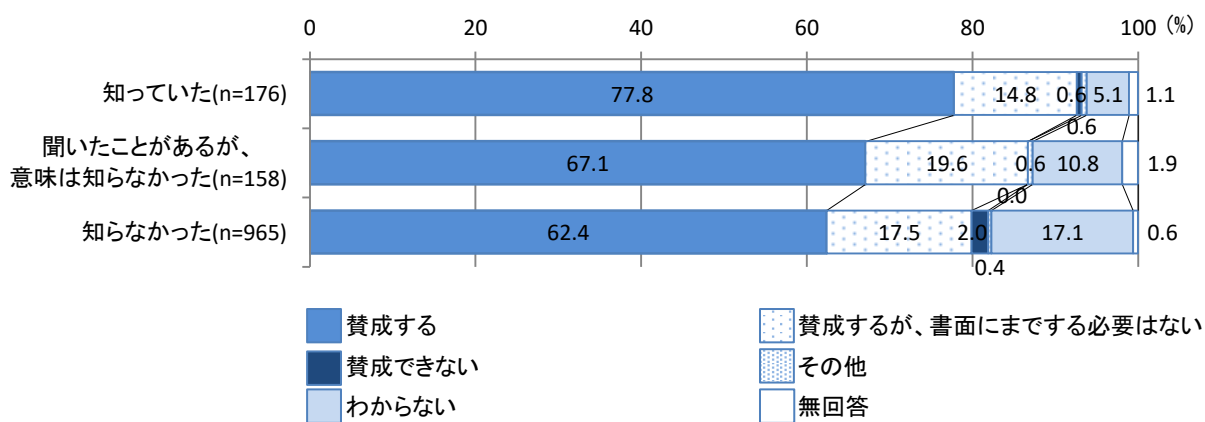
問 15 (介護を受けたい場所) で「老人ホームなどの福祉施設」と回答した人は、「(リビングウィルに) 賛成する」が高い。また、問 15 で「自宅 (子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」、「病院などの医療機関」、「老人ホームなどの福祉施設」のいずれかを回答した人では、『リビングウィルを肯定的に捉えている人』(「賛成する」と「賛成するが、書面にまでする必要はない」の合計。以下同じ。) が 8 割以上であるのに対し、「(介護を受けたい場所は) わからない」では 7 割程度にとどまっている。

<問 16 とのクロス集計>



人生の最終段階で受けてみたい医療について家族と話し合っている人ほど、リビングウィルを肯定的に捉えている傾向が見られる。

<問 17 とのクロス集計>



リビングウィルについて知っている人ほど、リビングウィルを肯定的に捉えている傾向が見られる。

【リビングウィルに対する考え方】

(%)

	全 体	賛 成 す る	賛 成 す る が 、 書 面 に ま で す る 必 要 は な い	賛 成 で き な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,344	63.4	17.0	1.6	0.4	14.4	3.2
性別	男性 n= 543	56.7	20.1	1.8	0.2	18.0	3.1
	女性 n= 702	70.1	14.1	1.4	0.7	10.8	2.8
年齢階層	10歳代 n= 12	58.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0
	20歳代 n= 82	81.7	4.9	2.4	0.0	8.5	2.4
	30歳代 n= 138	70.3	7.2	3.6	0.0	18.1	0.7
	40歳代 n= 201	70.6	10.9	1.0	0.5	14.9	2.0
	50歳代 n= 230	67.0	16.1	0.9	0.9	12.6	2.6
	60歳代 n= 311	61.4	20.9	1.3	0.3	13.8	2.3
	70歳以上 n= 364	53.0	23.9	1.4	0.5	15.1	6.0
世帯構成	ひとり暮らし n= 124	62.9	15.3	2.4	0.8	12.1	6.5
	夫婦のみ n= 346	59.0	24.6	1.2	0.0	11.8	3.5
	親・子の二世帯 n= 627	66.5	12.8	1.9	0.8	15.6	2.4
	親・子・孫の三世帯 n= 208	64.4	17.8	0.0	0.0	15.4	2.4
	その他 n= 30	50.0	16.7	6.7	0.0	20.0	6.7
同居の子ども	子どもがいる n= 641	65.2	15.6	1.4	0.6	14.7	2.5
	子どもはいない n= 689	62.3	17.7	1.6	0.3	14.4	3.8
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 635	66.5	15.7	1.6	0.3	12.6	3.3
	備中地域 n= 541	61.6	19.0	1.3	0.6	14.8	2.8
	美作地域 n= 162	59.3	14.8	1.9	0.6	19.8	3.7
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 635	66.5	15.7	1.6	0.3	12.6	3.3
	県南西部 n= 491	62.3	20.0	1.4	0.6	13.0	2.6
	高梁・新見 n= 50	54.0	10.0	0.0	0.0	32.0	4.0
	真庭 n= 35	68.6	8.6	2.9	0.0	14.3	5.7
	津山・英田 n= 127	56.7	16.5	1.6	0.8	21.3	3.1
居住年数	5年未満 n= 36	58.3	5.6	5.6	2.8	25.0	2.8
	5年以上10年未満 n= 38	73.7	15.8	2.6	0.0	5.3	2.6
	10年以上20年未満 n= 109	68.8	11.9	4.6	0.0	11.9	2.8
	20年以上 n= 1,154	63.0	17.9	1.1	0.4	14.5	3.1
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 140	55.7	22.1	0.7	0.7	15.0	5.7
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 359	68.8	12.5	1.1	0.3	16.4	0.8
	会社・団体などの役員 n= 29	72.4	13.8	3.4	0.0	6.9	3.4
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	70.3	12.9	2.7	0.0	10.9	3.1
	専業主婦(主夫) n= 173	66.5	17.9	1.2	1.2	10.4	2.9
	学生 n= 30	80.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	無職 n= 343	52.8	23.3	1.7	0.6	17.2	4.4

○リビングウィルに対する考え方について

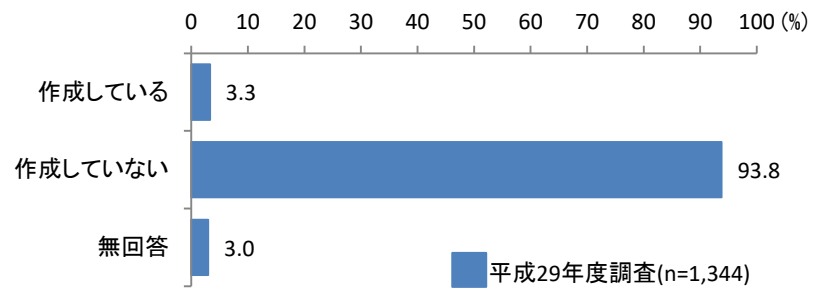
全体では「賛成する」が最も高く、次いで「賛成するが、書面にまでする必要はない」、「わからない」の順となっているが、回答者の属性別で分析すると、以下のような特徴が見られる。

【年齢階層】「10歳代」から「40歳代」までは、「賛成するが、書面にまでする必要はない」よりも、「わからない」のほうが高くなっている。また、「10歳代」から「30歳代」までは、「賛成できない」が平均値を大きく上回っている。

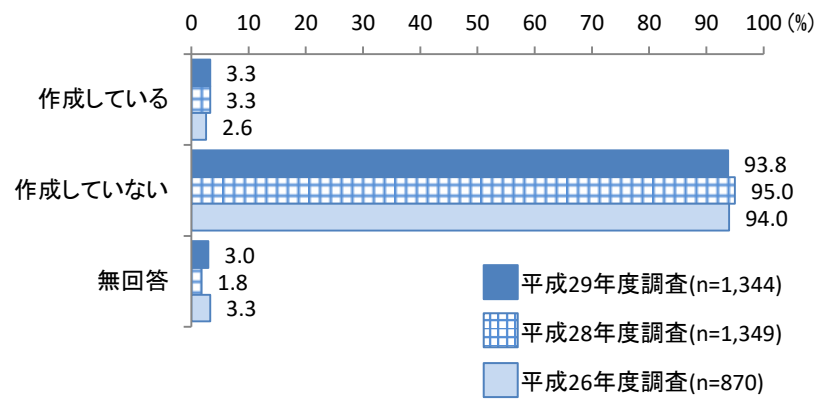
【居住地域②(医療圏域)】「高梁・新見」、「真庭」、「津山・英田」では、「賛成するが、書面にまでする必要はない」よりも、「わからない」のほうが高くなっている。「高梁・新見」では特にこの傾向が顕著である。

【職業】「会社・団体などの正社員(正職員)」のみ、「賛成するが、書面にまでする必要はない」よりも、「わからない」のほうが高くなっている。

■問 19 あなたは実際に書面を作成していますか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



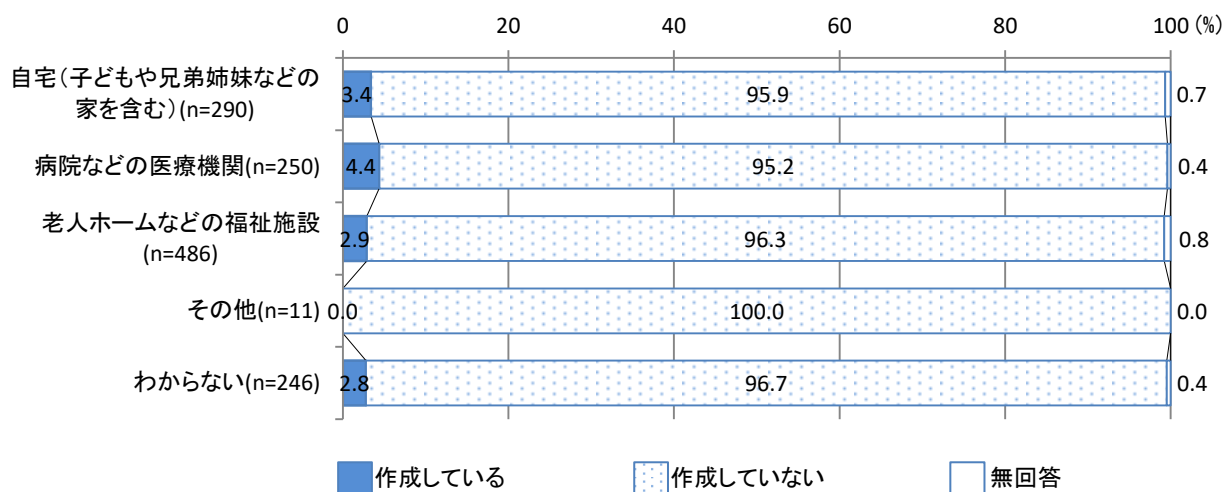
<類似調査比較>



○前年度との比較

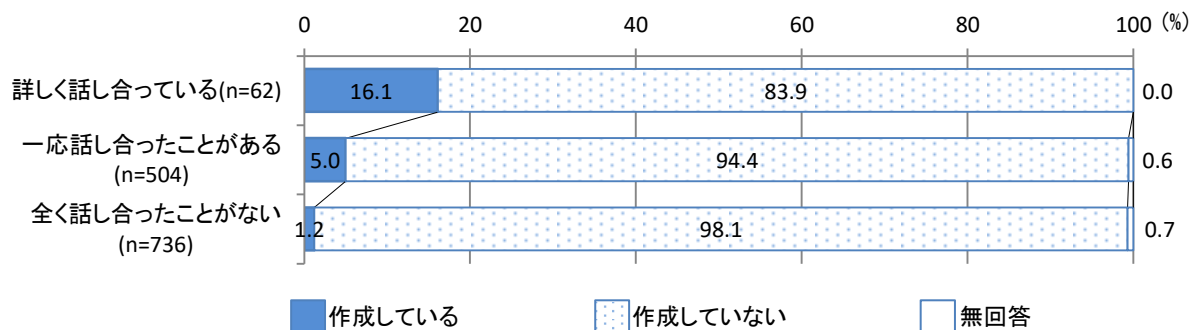
- ◆低下
「作成していない」(前年度差▲1.2)
- ◆差がなし
「作成している」

<問 15 とのクロス集計>



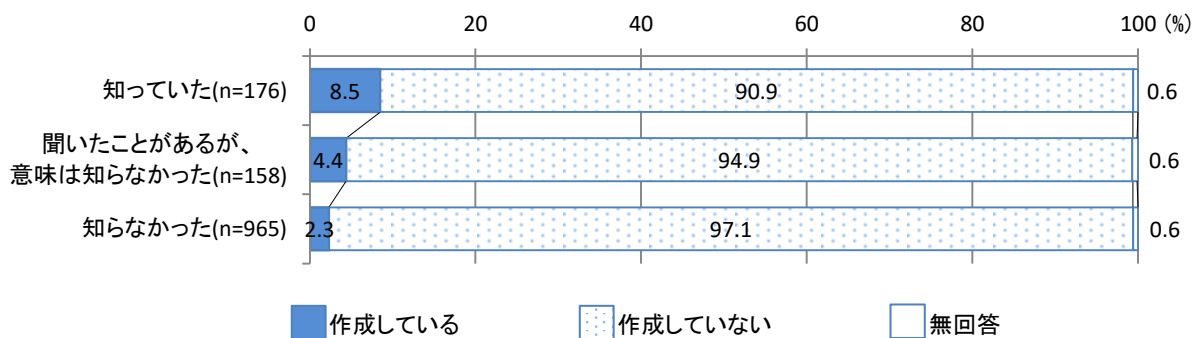
問 15 (介護を受けたい場所) で「病院などの医療機関」と回答した人は、他を選択した人に比べて「(書面を) 作成している」が若干高くなっているものの、ほとんどの人が「作成していない」という傾向には差がない。

<問 16 とのクロス集計>



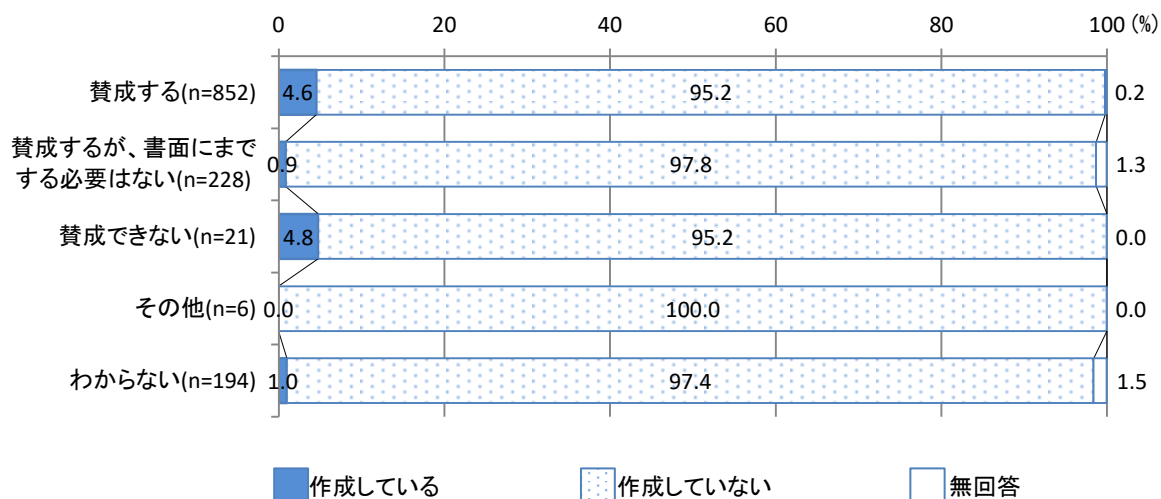
問 16 (人生で最終段階で受けたい医療についての話し合い) で「詳しく話し合っている」と回答した人は、他を選択した人に比べて「(書面を) 作成している」がかなり高くなっているものの、「作成していない」が8割を超えている。

<問 17 とのクロス集計>



問 17 (リビングウィルの認知度) で「知っていた」と回答した人は、他を選択した人に比べて「(書面を)作成している」がかなり高くなっているものの、「作成していない」が9割を超えている。

<問 18 とのクロス集計>



問 18 (リビングウィルに対する考え方) で「賛成する」と回答した人は、他を選択した人に比べて「(書面を)作成している」が若干高くなっているものの、ほとんどの人が「作成していない」という傾向には差がない。

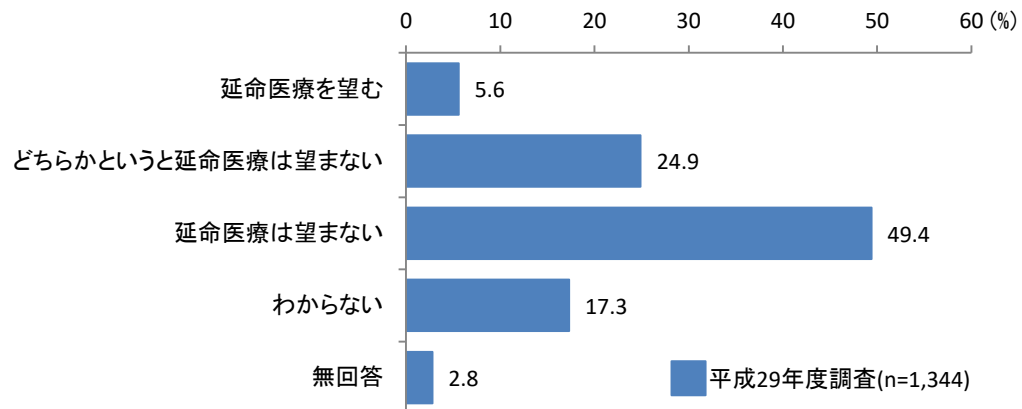
【リビングウィルの書面作成の有無】

		全 体	作 成 し て い る	作 成 し て い な い	(%) 無 回 答
全体	全体	n= 1,344	3.3	93.8	3.0
性別	男性	n= 543	2.8	94.3	2.9
	女性	n= 702	3.6	93.9	2.6
年齢階層	10歳代	n= 12	0.0	100.0	0.0
	20歳代	n= 82	0.0	98.8	1.2
	30歳代	n= 138	0.7	99.3	0.0
	40歳代	n= 201	1.5	96.0	2.5
	50歳代	n= 230	2.2	94.8	3.0
	60歳代	n= 311	2.9	94.9	2.3
	70歳以上	n= 364	6.9	88.2	4.9
世帯構成	ひとり暮らし	n= 124	4.0	90.3	5.6
	夫婦のみ	n= 346	4.6	91.9	3.5
	親・子の二世帯	n= 627	1.9	95.4	2.7
	親・子・孫の三世帯	n= 208	5.3	94.2	0.5
	その他	n= 30	0.0	93.3	6.7
同居の子ども	子どもがいる	n= 641	3.1	95.2	1.7
	子どもはいない	n= 689	3.5	92.6	3.9
居住地域① (県民局)	備前地域	n= 635	3.8	92.9	3.3
	備中地域	n= 541	3.0	94.6	2.4
	美作地域	n= 162	2.5	94.4	3.1
居住地域② (医療圏域)	県南東部	n= 635	3.8	92.9	3.3
	県南西部	n= 491	3.3	94.5	2.2
	高梁・新見	n= 50	0.0	96.0	4.0
	真庭	n= 35	2.9	91.4	5.7
	津山・英田	n= 127	2.4	95.3	2.4
居住年数	5年未満	n= 36	0.0	97.2	2.8
	5年以上10年未満	n= 38	2.6	94.7	2.6
	10年以上20年未満	n= 109	0.9	97.2	1.8
	20年以上	n= 1,154	3.6	93.4	2.9
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)	n= 140	2.9	93.6	3.6
	会社・団体などの正社員(正職員)	n= 359	1.4	97.8	0.8
	会社・団体などの役員	n= 29	0.0	96.6	3.4
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など	n= 256	1.6	95.3	3.1
	専業主婦(主夫)	n= 173	3.5	93.1	3.5
	学生	n= 30	0.0	100.0	0.0
	無職	n= 343	7.3	88.6	4.1

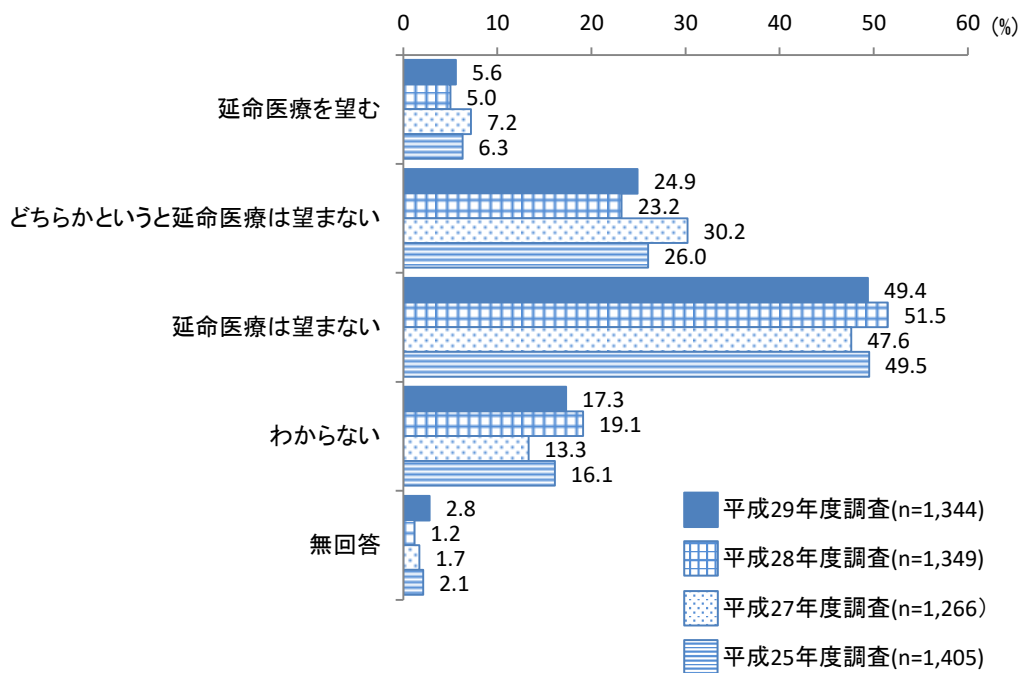
○リビングウィルの書面作成の有無について

全体では「作成していない」が9割超となっている。回答者の属性別で分析しても同様の結果となっているものの、「70歳以上」、「無職」の属性では「作成している」が比較的高くなっている。一方、「20歳代」、「(居住地域②)高梁・新見」、「(居住年数)5年未満」、「会社・団体などの役員」、「学生」などでは、「作成している」がゼロとなっている。

■問 20 あなたの余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、延命医療を望みますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



<類似調査比較>



○前年度との比較

◆上昇

「延命医療を望む」(前年度差 0.6)

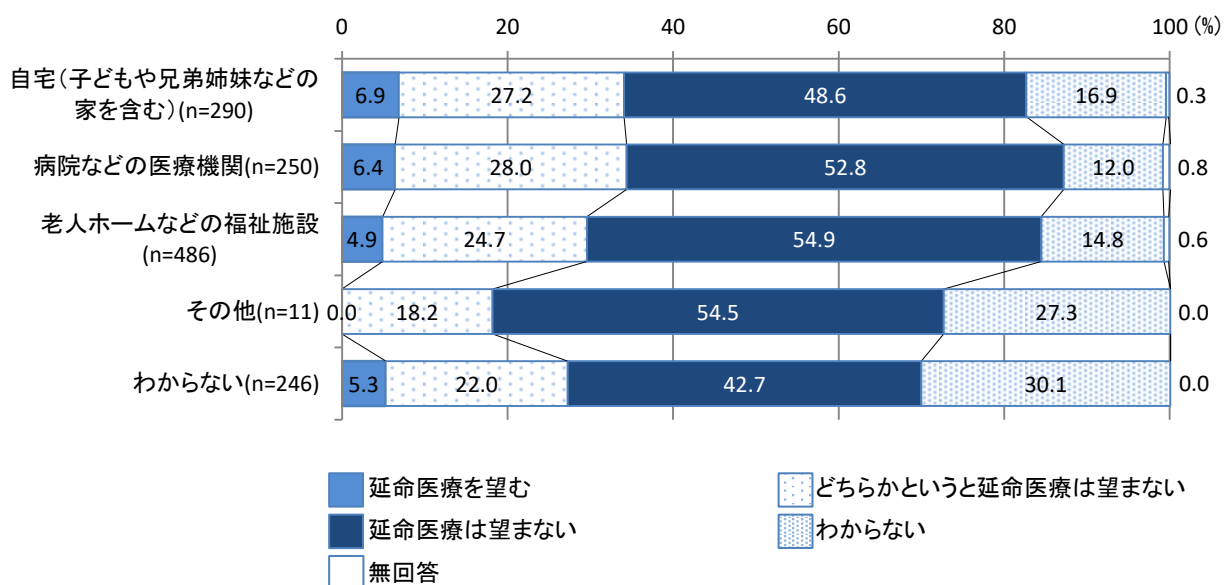
「どちらかという延命医療は望まない」(前年度差 1.7)

◆低下

「延命医療は望まない」(前年度差 ▲2.1)

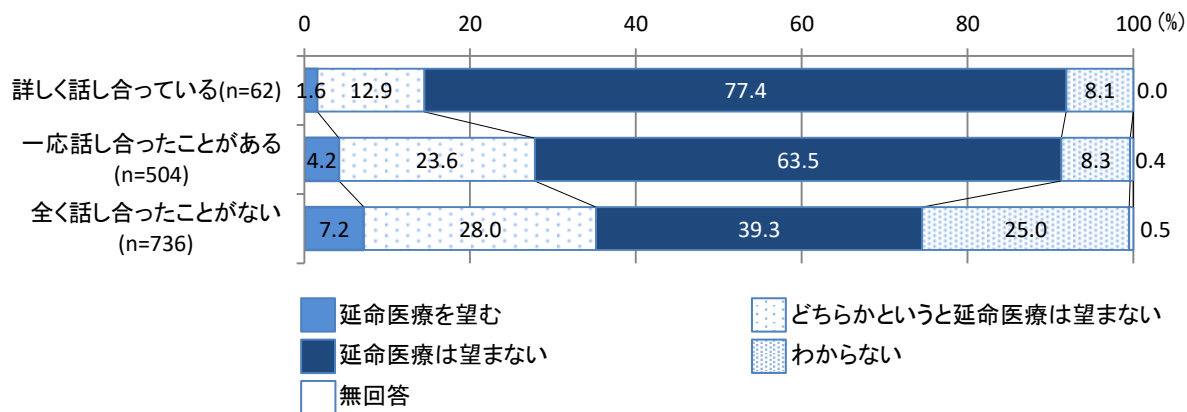
「わからない」(前年度差 ▲1.8)

<問 15 とのクロス集計>



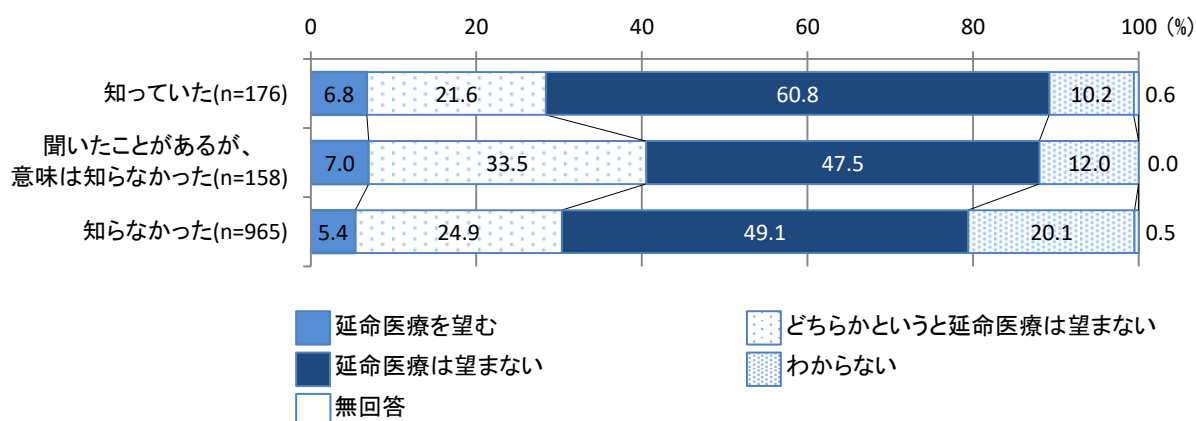
問 15 (介護を受けたい場所) で「老人ホームなどの福祉施設」と回答した人は、「自宅 (子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」や「病院などの医療機関」と回答した人に比べて「延命医療を望む」が低く、「延命医療は望まない」が高くなっている。また、問 15 で「わからない」と回答した人は、延命医療についても「わからない」が高くなっている。

<問 16 とのクロス集計>



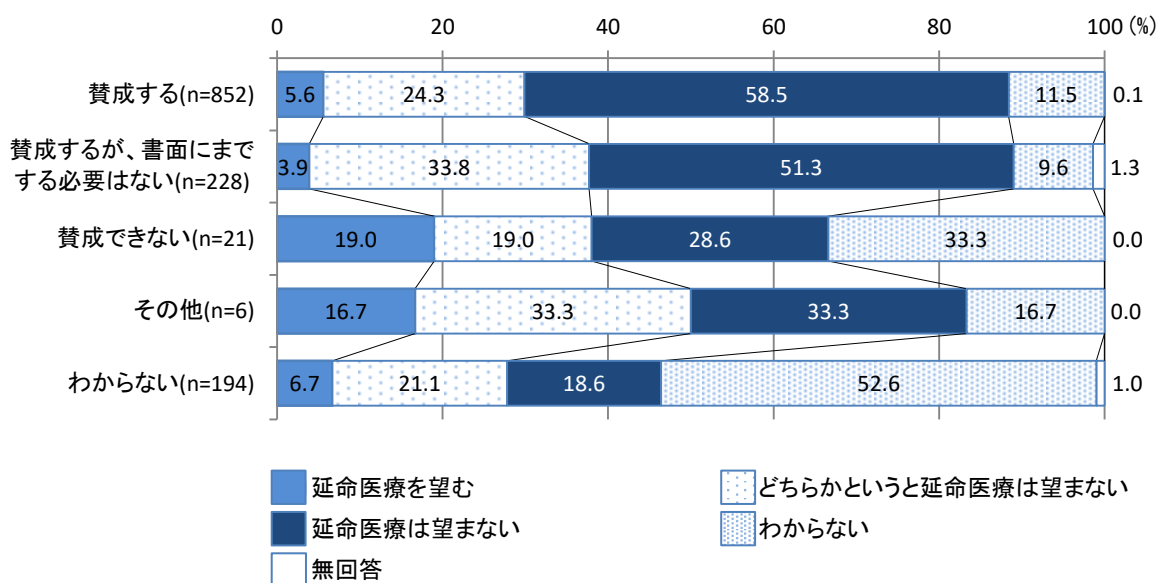
問 16 (人生の最終段階で受けたい医療についての話し合い) で「詳しく話し合っている」と回答した人は、他を選択した人に比べて「延命医療は望まない」が高くなっているが、問 16 で「全く話し合ったことがない」と回答した人は、逆に「延命医療を望む」が高くなっている。また、問 16 で「全く話し合ったことがない」と回答した人のうち 4 人に 1 人が、「(延命医療を受けたいか) わからない」としており、「詳しく話し合っている」、「一応話し合ったことがある」と回答した人と比べると約 3 倍となっている。

<問 17 とのクロス集計>



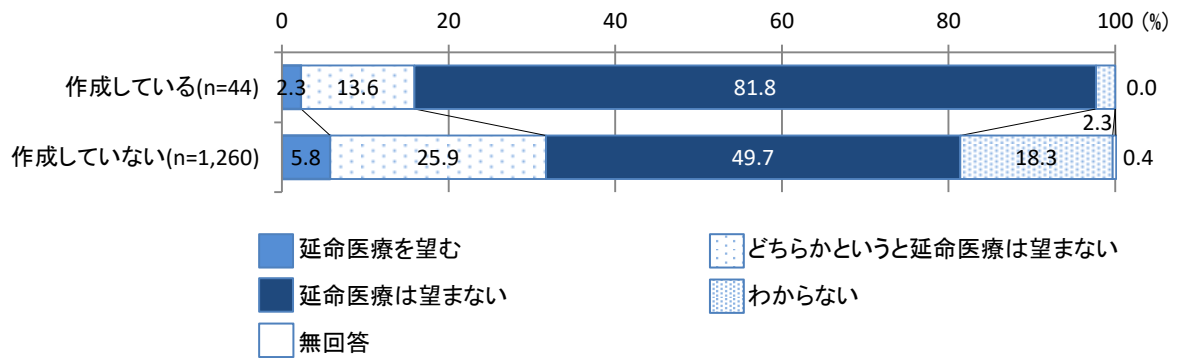
問 17 (リビングウィルの認知度) で「知っていた」と回答した人は、他を選択した人に比べて「延命医療は望まない」が高くなっている。また、問 17 で「知らなかった」と回答した人のうち5人に1人が、「(延命医療を受けたいか) わからない」としており、「知っていた」、「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」と回答した人と比べると約2倍となっている。

<問 18 とのクロス集計>



問 18 (リビングウィルに対する考え方) で「賛成する」または「賛成するが、書面にまでする必要はない」と回答した人は、「延命医療は望まない」が高くなっている。また、問 18 で「賛成できない」と回答した人のうち3人に1人、あるいは「わからない」と回答した人のうち2人に1人が、「(延命医療を受けたいか) わからない」としている。

<問 19 とのクロス集計>



問 19（書面作成の有無）で「作成している」と回答した人のほとんどが、「延命医療は望まない」または「どちらかというと延命医療は望まない」としている。また問 19 で「作成していない」と回答した人は、「作成している」と回答した人と比べて「延命医療を望む」が約 3 倍となっているものの、「延命治療は望まない」、「どちらかというと延命医療は望まない」の合計が約 8 割となっている。

【余命が短い場合の延命医療の意向】

(%)

	全 体	延 命 医 療 を 望 む	ど ち ら か と い う と 延 命 医 療 は 望 ま な い	延 命 医 療 は 望 ま な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,344	5.6	24.9	49.4	17.3	2.8
性別	男性 n= 543	5.3	24.9	46.0	20.4	3.3
	女性 n= 702	5.8	25.5	51.0	15.8	1.9
年齢階層	10歳代 n= 12	8.3	33.3	16.7	41.7	0.0
	20歳代 n= 82	14.6	26.8	28.0	29.3	1.2
	30歳代 n= 138	8.7	31.2	30.4	29.7	0.0
	40歳代 n= 201	9.0	25.4	41.3	21.9	2.5
	50歳代 n= 230	6.5	22.2	54.3	14.3	2.6
	60歳代 n= 311	2.3	23.8	55.6	16.1	2.3
	70歳以上 n= 364	2.5	23.9	59.1	9.6	4.9
世帯構成	ひとり暮らし n= 124	3.2	22.6	54.0	14.5	5.6
	夫婦のみ n= 346	2.9	25.4	55.8	12.7	3.2
	親・子の二世帯 n= 627	7.0	25.0	45.8	19.8	2.4
	親・子・孫の三世帯 n= 208	5.8	25.0	49.5	19.2	0.5
	その他 n= 30	6.7	23.3	40.0	20.0	10.0
同居の子ども	子どもがいる n= 641	5.9	25.3	48.0	19.0	1.7
	子どもはいない n= 689	4.9	24.8	50.7	16.0	3.6
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 635	6.0	24.6	49.4	16.9	3.1
	備中地域 n= 541	5.4	24.4	51.4	16.6	2.2
	美作地域 n= 162	4.3	26.5	44.4	21.6	3.1
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 635	6.0	24.6	49.4	16.9	3.1
	県南西部 n= 491	5.7	24.8	51.7	15.9	1.8
	高梁・新見 n= 50	2.0	20.0	48.0	24.0	6.0
	真庭 n= 35	2.9	22.9	51.4	20.0	2.9
	津山・英田 n= 127	4.7	27.6	42.5	22.0	3.1
居住年数	5年未満 n= 36	19.4	22.2	19.4	38.9	0.0
	5年以上10年未満 n= 38	10.5	31.6	36.8	15.8	5.3
	10年以上20年未満 n= 109	8.3	21.1	43.1	26.6	0.9
	20年以上 n= 1,154	4.7	25.0	51.6	15.8	2.9
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 140	0.7	27.1	52.9	15.7	3.6
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 359	8.1	24.8	43.5	23.1	0.6
	会社・団体などの役員 n= 29	13.8	17.2	51.7	13.8	3.4
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	8.2	25.8	43.8	19.1	3.1
	専業主婦(主夫) n= 173	4.0	26.0	53.2	13.9	2.9
	学生 n= 30	6.7	33.3	40.0	20.0	0.0
	無職 n= 343	2.6	22.2	58.6	12.5	4.1

○余命が短い場合の延命医療の意向について

全体では「延命医療は望まない」が最も高く、次いで「どちらかというに延命医療は望まない」、「わからない」の順となっているが、回答者の属性別で分析すると、以下のような特徴が見られる。

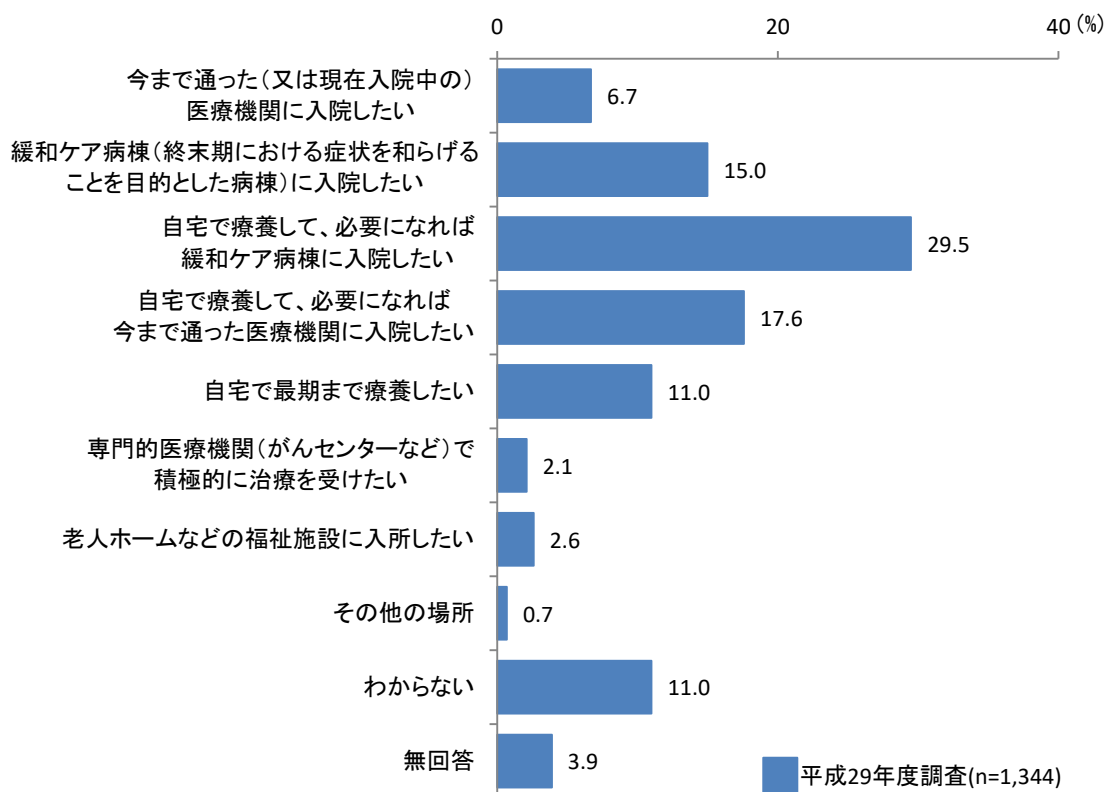
【年齢階層】年齢階層が上がるにつれて、「延命医療は望まない」が高くなり、「わからない」が低くなる傾向が見られる。「10歳代」、「20歳代」では「わからない」が最も高く、「30歳代」では「どちらかというに延命医療は望まない」が最も高くなっている。また、「20歳代」は他の年齢階層と比べて「延命医療を望む」が高くなっている。

【居住地域②(医療圏域)】「高梁・新見」のみ、「どちらかというに延命医療は望まない」よりも、「わからない」が高くなっている。

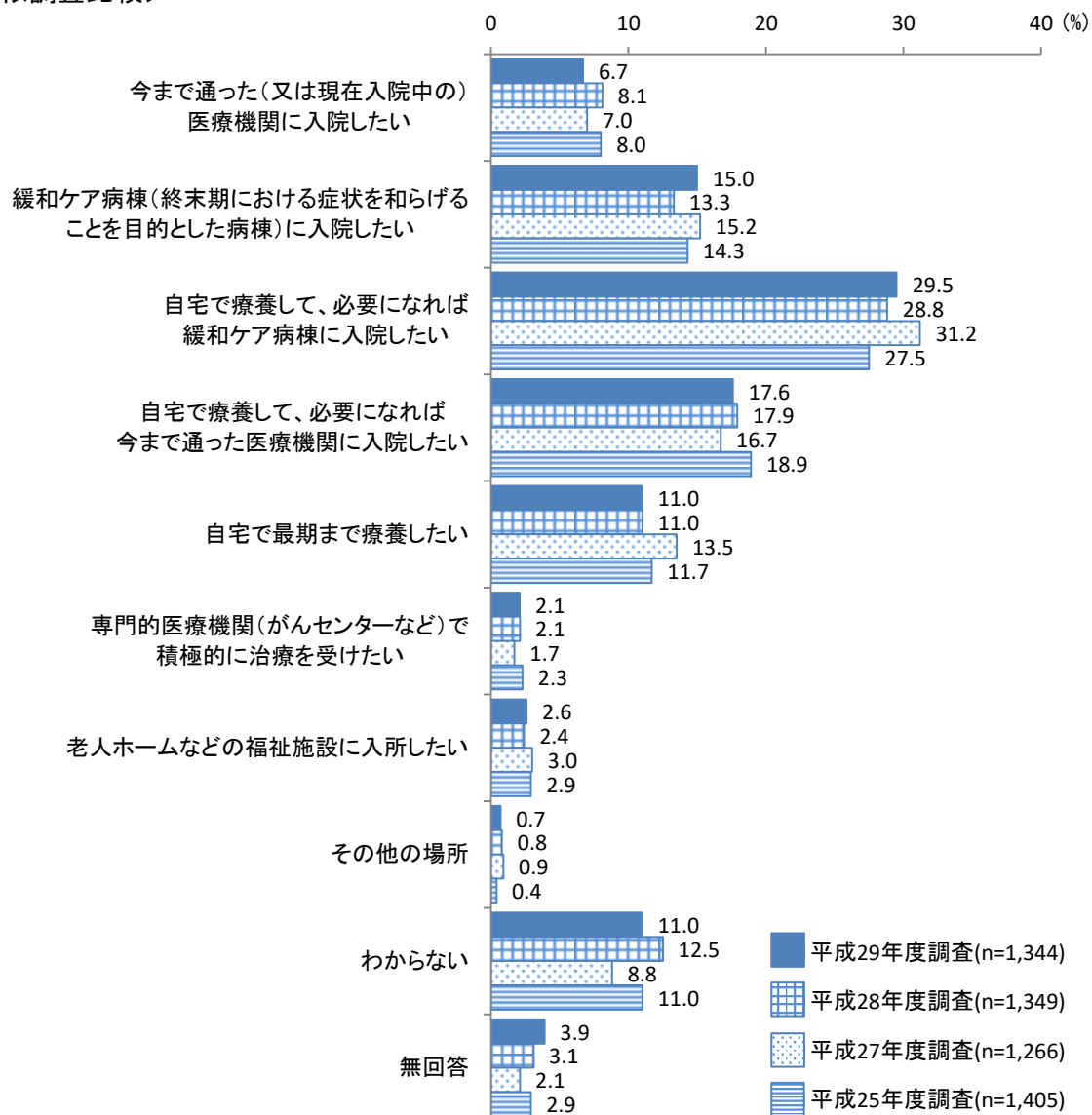
【居住年数】「5年未満」のみ、「わからない」が最も高くなっている。また、「5年未満」、「5年以上10年未満」では「延命治療を望む」が高くなっている。

【職業】「会社・団体などの役員」では「延命治療を望む」が高くなっている。

■問 21 あなたの余命が6ヶ月程度あるいはそれより短い期間と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



<類似調査比較>



○前年度との比較

◆上昇

「緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい」

（前年度差 1.7）

「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」（前年度差 0.7）

「老人ホームなどの福祉施設に入所したい」（前年度差 0.2）

◆低下

「今まで通った（又は現在入院中の）医療機関に入院したい」（前年度差▲1.4）

「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」（前年度差▲0.3）

「その他の場所」（前年度差▲0.1）

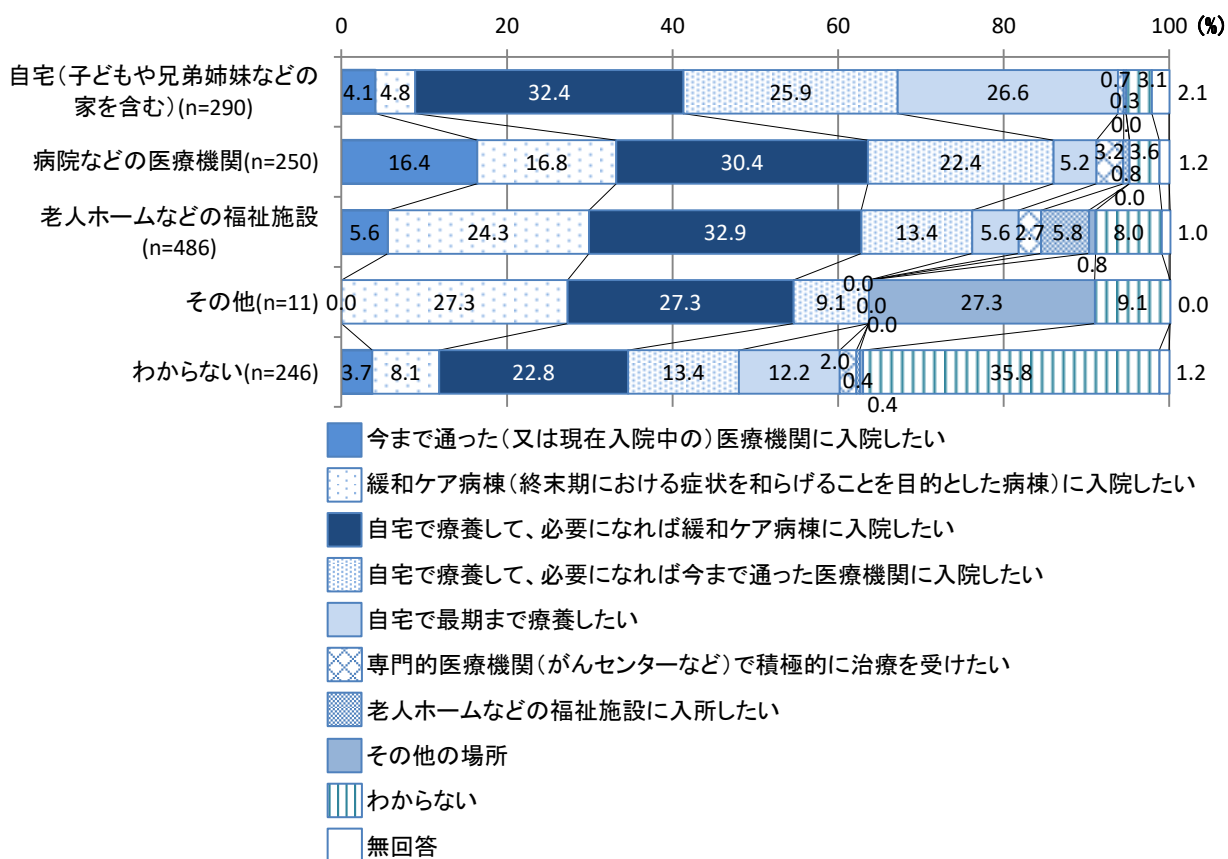
「わからない」（前年度差▲1.5）

◆差がなし

「自宅で最期まで療養したい」

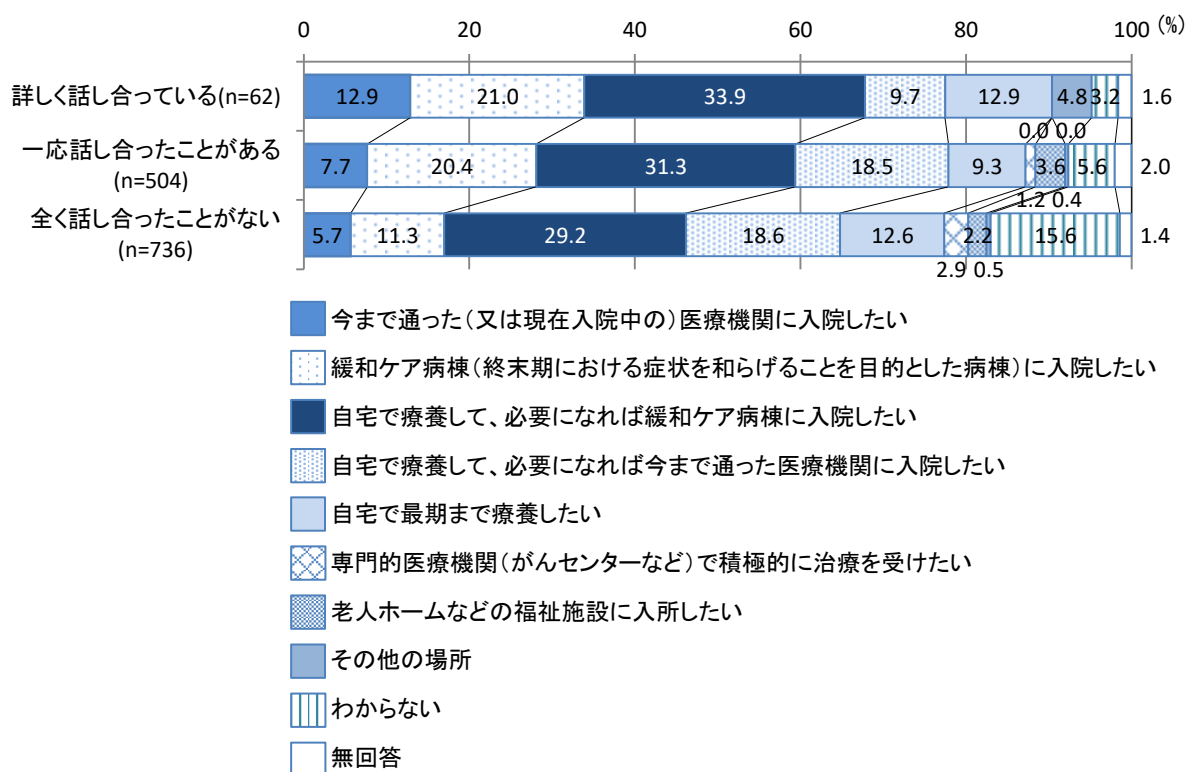
「専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい」

<問 15 とのクロス集計>



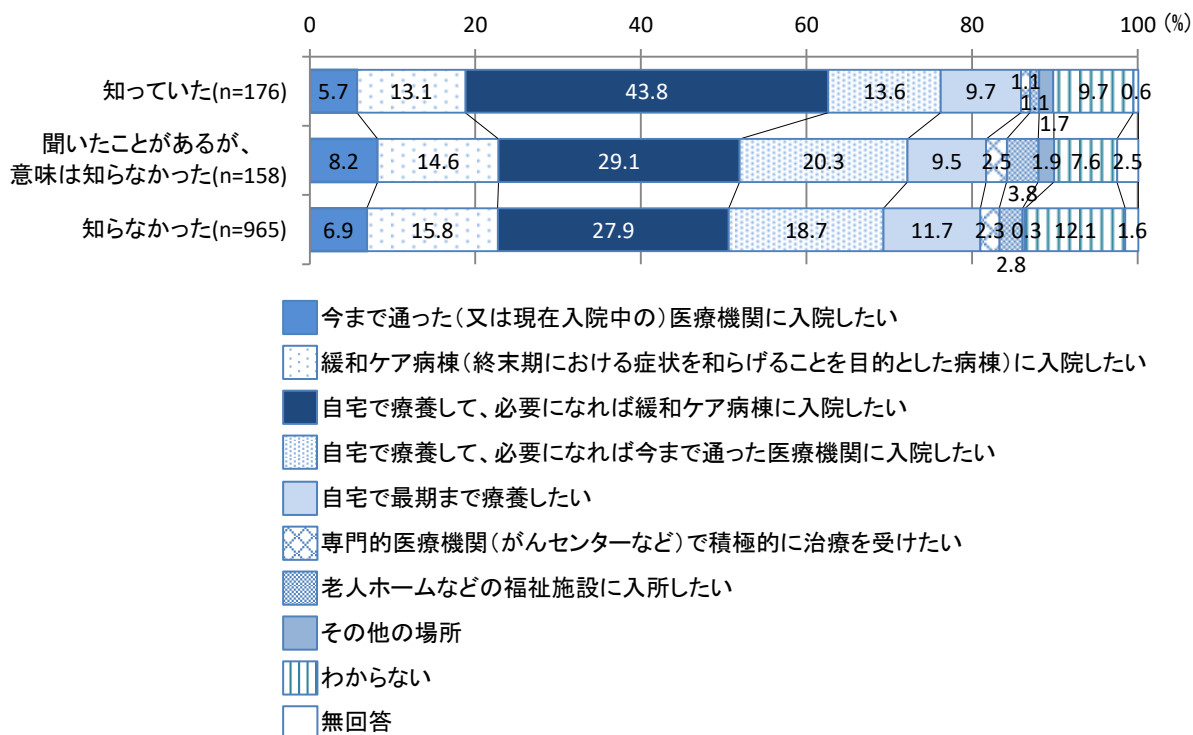
問 15 (介護を受けたい場所) で「自宅 (子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」と回答した人では「自宅で最期まで療養したい」が高いが、問 15 で「病院などの医療機関」や「老人ホームなどの福祉施設」と回答した人では低く、両者の間には約5倍の開きが見られる。また、問 15 で「自宅 (子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」、「病院などの医療機関」、「老人ホームなどの福祉施設」のいずれの場所を選択した人も、約3割が「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」と回答している。

<問 16 とのクロス集計>



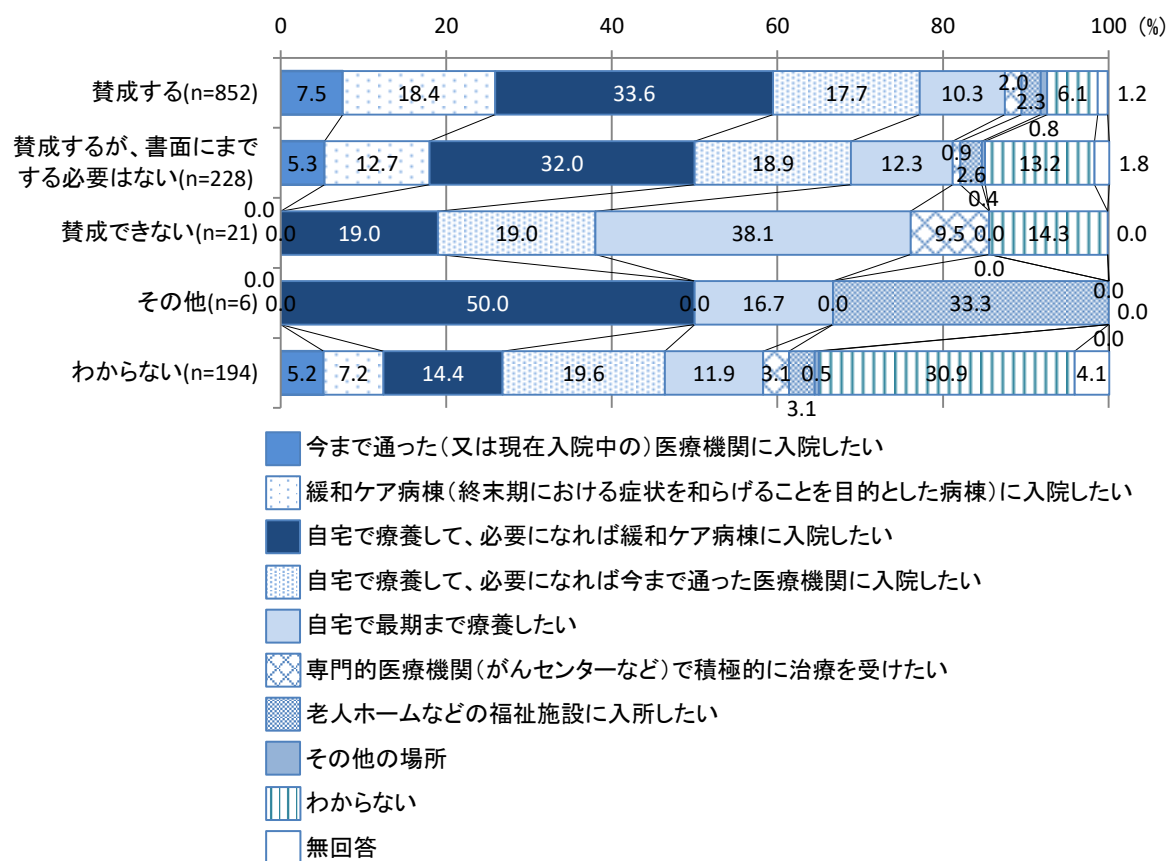
問 16 (人生の最終段階で受たい医療についての話し合い) で「詳しく話し合っている」と回答した人と「全く話し合ったことがない」と回答した人を比べると、「自宅で最期まで療養したい」の割合がほぼ同じとなっている。一方、問 16 で「全く話し合ったことがない」と回答した人は、他を選択した人に比べて「(最期まで過ごしたい場所は) わからない」が高くなっている。

<問 17 とのクロス集計>



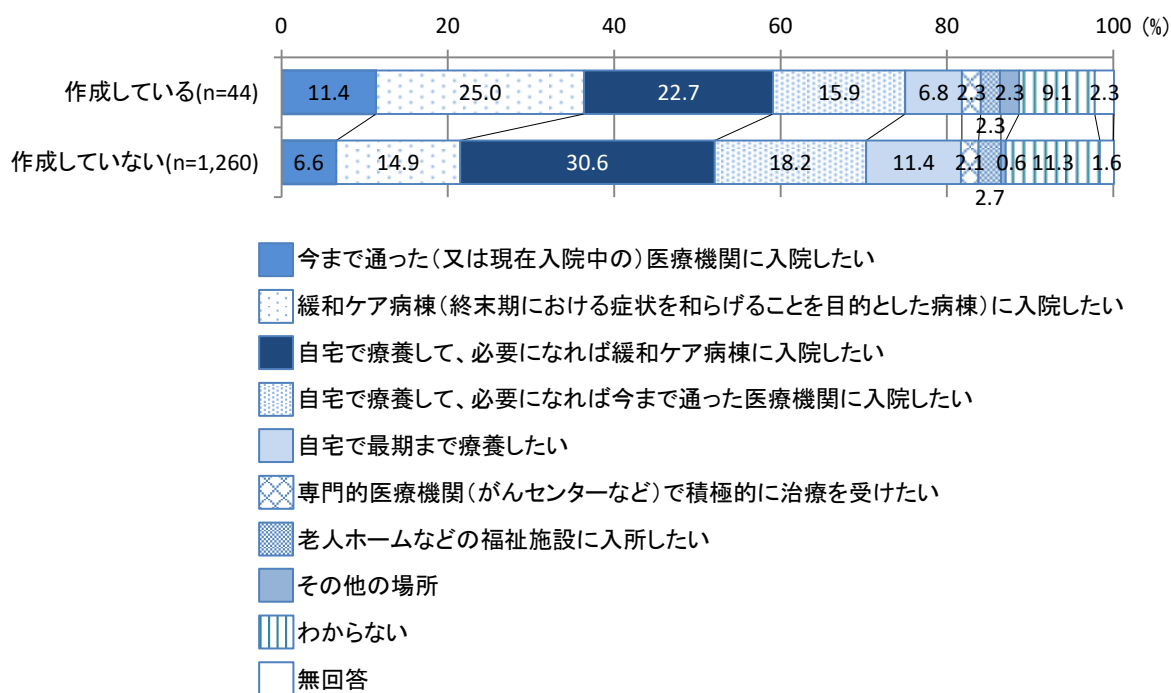
問 17 (リビングウィルの認知度) で「知っていた」と回答した人は、他を選択した人に比べて「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」が高くなっている。

<問 18 とのクロス集計>



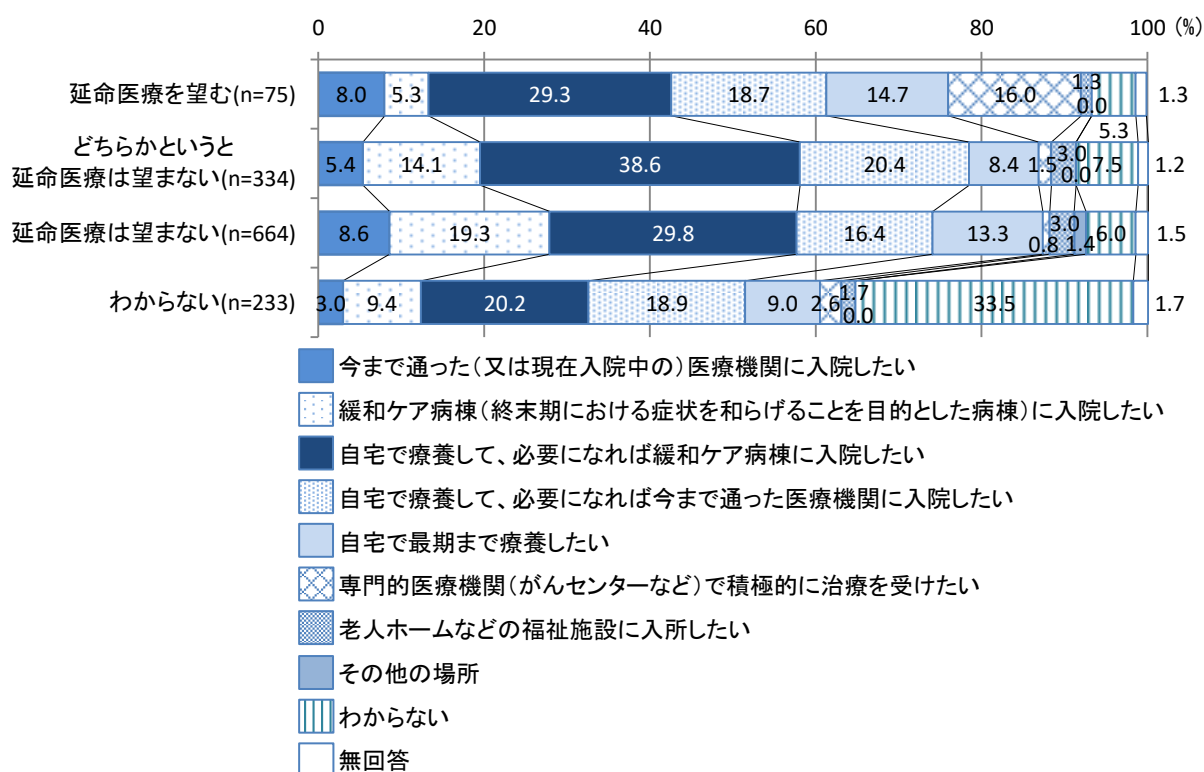
問 18 (リビングウィルに対する考え方) で『リビングウィルを肯定的に捉えている人』では、『自宅での療養希望』(「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」と「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」と「自宅で最期まで療養したい」の合計。以下同じ。)が約6割となっている。また、問 18 で「賛成できない」と回答した人は、『自宅での療養希望』が約8割とさらに高くなっており、特に「自宅で最期まで療養したい」は、『リビングウィルを肯定的に捉えている人』に比べて、3倍以上となっている。

<問 19 とのクロス集計>



問 19 (書面作成の有無) で「作成していない」と回答した人は、「作成している」と回答した人に比べて「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」、「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」、「自宅で最期まで療養したい」がいずれも高くなっている。

<問 20 とのクロス集計>



問 20 (余命が短い場合の延命医療の意向) で「延命医療は望まない」と回答した人は、他を選択した人に比べて「緩和ケア病棟に入院したい」が高くなっている。また、問 20 で「延命医療を望む」、「どちらかという延命医療は望まない」、「延命医療は望まない」のいずれを選択した人でも、『自宅での療養希望』は約6割となっている。

【余命が短い場合に療養生活を送りたい場所】

(96)

	全体	今まで通った医療機関に入院したい	緩和ケア病棟に入院したい	緩和ケア病棟（終末期における目的を目的とする）に入院したい	自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい	自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい	自宅で最期まで療養したい	いなど）で積極的に治療を受けた専門的医療機関（がんセンターなど）に入院したい	老人ホームなどの福祉施設に入所したい	その他の場所	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,344	6.7	15.0	29.5	17.6	11.0	2.1	2.6	0.7	11.0	3.9	
性別	男性 n= 543	7.6	11.0	24.5	21.0	12.7	2.2	2.2	0.7	13.6	4.4	
	女性 n= 702	5.4	18.1	35.2	14.5	9.8	2.0	2.3	0.7	9.1	2.8	
年齢階層	10歳代 n= 12	0.0	0.0	8.3	16.7	25.0	0.0	0.0	8.3	41.7	0.0	
	20歳代 n= 82	4.9	9.8	23.2	22.0	17.1	4.9	2.4	1.2	13.4	1.2	
	30歳代 n= 138	2.2	5.8	40.6	16.7	15.2	2.9	0.0	0.7	14.5	1.4	
	40歳代 n= 201	6.5	12.9	33.8	17.4	10.0	3.0	0.0	2.0	12.9	1.5	
	50歳代 n= 230	6.5	21.7	35.7	8.7	7.4	2.2	1.3	0.4	12.6	3.5	
	60歳代 n= 311	6.4	17.7	32.8	18.3	7.7	1.3	3.2	0.0	9.6	2.9	
世帯構成	70歳以上 n= 364	9.6	14.6	18.4	21.7	13.5	1.4	5.5	0.3	7.1	8.0	
	ひとり暮らし n= 124	7.3	21.8	17.7	13.7	12.9	0.0	4.8	2.4	11.3	8.1	
	夫婦のみ n= 346	7.5	16.2	29.2	19.7	9.8	1.7	3.2	0.0	8.4	4.3	
	親・子の二世帯 n= 627	5.3	12.8	32.7	16.6	11.0	2.9	2.1	0.8	12.6	3.3	
	親・子・孫の三世帯 n= 208	9.1	14.9	27.9	18.8	13.0	1.9	1.9	0.0	11.1	1.4	
同居の子ども	その他 n= 30	6.7	20.0	26.7	13.3	6.7	0.0	3.3	3.3	10.0	10.0	
	子どもがいる n= 641	6.7	13.9	34.0	17.0	10.0	2.7	2.3	0.6	10.0	2.8	
	子どもはいない n= 689	6.7	16.0	25.5	18.0	11.9	1.6	2.9	0.7	11.8	4.9	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 635	7.4	16.9	32.4	16.4	8.7	2.2	2.8	0.6	8.8	3.8	
	備中地域 n= 541	5.9	14.2	27.4	18.3	13.5	2.0	2.0	0.7	11.8	4.1	
	美作地域 n= 162	6.8	10.5	25.9	18.5	11.7	1.9	3.7	0.6	17.3	3.1	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 635	7.4	16.9	32.4	16.4	8.7	2.2	2.8	0.6	8.8	3.8	
	県南西部 n= 491	5.5	14.7	27.9	18.7	13.4	1.4	1.8	0.8	12.2	3.5	
	高梁・新見 n= 50	10.0	10.0	22.0	14.0	14.0	8.0	4.0	0.0	8.0	10.0	
	真庭 n= 35	8.6	11.4	28.6	22.9	8.6	0.0	2.9	11.4	5.7	5.7	
	津山・英田 n= 127	6.3	10.2	25.2	17.3	12.6	2.4	4.7	0.0	18.9	2.4	
居住年数	5年未満 n= 36	5.6	11.1	38.9	13.9	2.8	2.8	5.6	0.0	19.4	0.0	
	5年以上10年未満 n= 38	7.9	13.2	28.9	13.2	7.9	2.6	0.0	5.3	18.4	2.6	
	10年以上20年未満 n= 109	6.4	11.0	33.9	11.0	14.7	2.8	0.0	1.8	16.5	1.8	
	20年以上 n= 1,154	6.8	15.6	28.9	18.3	11.0	2.0	2.8	0.4	10.1	4.2	
職業	自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む） n= 140	5.7	12.9	28.6	22.9	11.4	0.7	5.0	0.7	7.1	5.0	
	会社・団体などの正社員（正職員） n= 359	4.7	13.1	32.9	17.5	10.9	2.2	1.1	1.1	15.3	1.1	
	会社・団体などの役員 n= 29	6.9	24.1	27.6	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.2	3.4	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	6.3	16.8	32.0	13.7	11.3	3.9	1.2	0.4	11.7	2.7	
	専業主婦（主夫） n= 173	7.5	18.5	42.2	12.7	6.4	1.2	2.3	0.0	5.8	3.5	
	学生 n= 30	6.7	6.7	20.0	10.0	26.7	6.7	0.0	6.7	16.7	0.0	
無職 n= 343	9.3	15.2	19.8	20.7	12.8	1.5	4.4	0.3	9.3	6.7		

○余命が短い場合に療養生活を送りたい場所について

全体では「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」が最も高く、次いで「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」、「緩和ケア病棟に入院したい」の順となっているが、回答者の属性別で分析すると、以下のような特徴が見られる。

【性別】「女性」では、「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」よりも「緩和ケア病棟に入院したい」のほうが高くなっている。

【年齢階層】「10歳代」では「わからない」が最も高く、「70歳代」では、「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」が最も高くなっている。また、「自宅で最期まで療養したい」は年齢階層が上がるにつれて低くなる傾向が見られるが、「60歳代」から再び増加に転じている。

【世帯構成】「ひとり暮らし」のみ、「緩和ケア病棟に入院したい」が最も高くなっている。

【居住地域②（医療圏域）】「県南東部」は他の地域に比べて「緩和ケア病棟に入院したい」が高く、「津山・英田」は「わからない」が高くなっている。

【職業】「学生」は「自宅で最期まで療養したい」が最も高く、「無職」は「自宅で療養して、必要になれば今まで通った医療機関に入院したい」が最も高くなっている。